

II 調査結果

1. 観光客との接点
2. 沖縄観光に対する意識
3. 観光客来訪による影響
4. 観光施策の重要度・達成度
5. 観光産業に対する意識
6. 観光税の導入に対する意識
7. 将来の沖縄観光のあり方や観光行政に関する意見

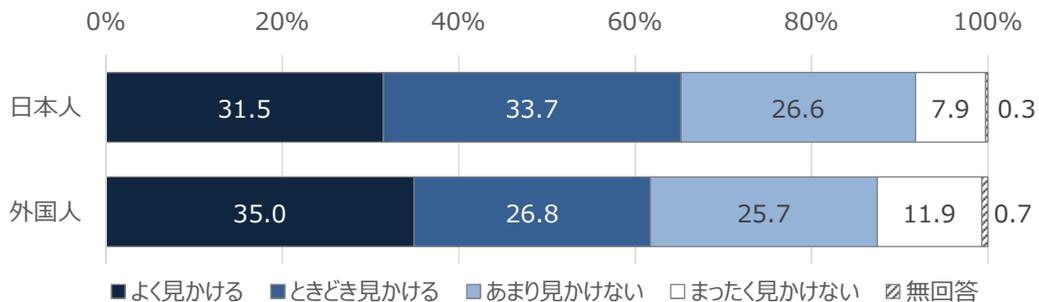
1. 観光客との接点

(1) 観光客を見かける頻度

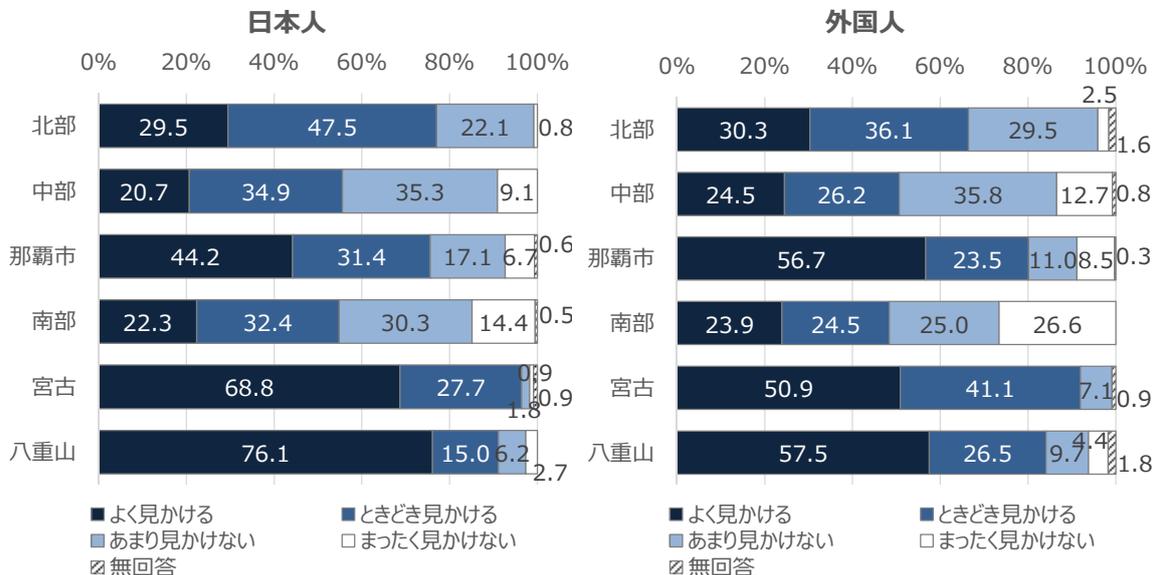
Q あなたがお住まいの地域（市町村）で観光客を見かけることがありますか。

- 観光客を「よく見かける」割合は、日本人 31.5%、外国人 35.0%と両者とも 3 割を超えており、やや外国人が日本人を上回る。一方、「見かけない（あまり見かけない+まったく見かけない）」割合も外国人が日本人を上回った。外国人観光客のほうが一定地域に集中しており、日本人観光客よりも地域分散が進んでいないと考えられる。
- 地域別にみると、日本人は“八重山”、“宮古”で「よく見かける」割合が高く、“中部”、“南部”で低い。外国人も基本的には同様の傾向がみられるが、“那覇市”では“八重山”と同程度に「よく見かける」割合が高い。
- 性別にみると、日本人、外国人ともに、“女性”のほうがやや「よく見かける」割合が高い。
- 年代別にみると、日本人、外国人ともに、“30～40 代”で「よく見かける」割合が高い。外国人は“10～20 代”も高い割合となっている。
- 7 年前に実施された調査結果と比較すると、外国人観光客が急増していることを県民も実感している。

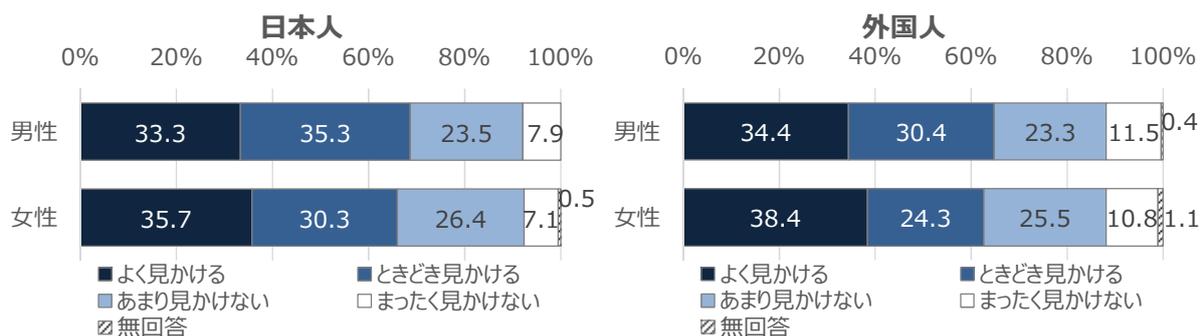
図表 1-1-1 観光客を見かける頻度



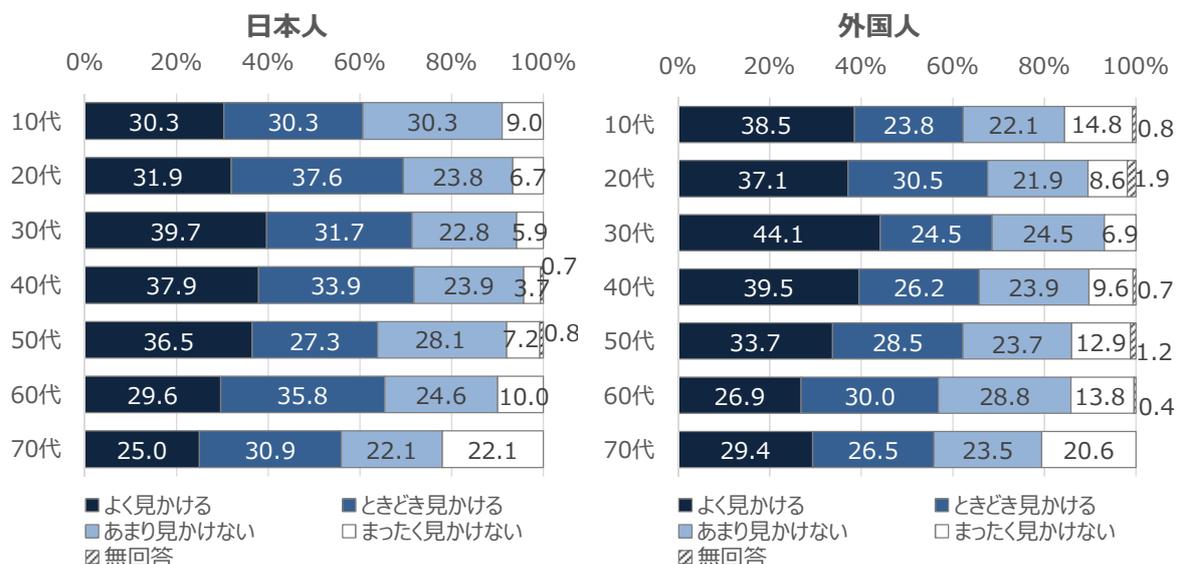
図表 1-1-2 観光客を見かける頻度（地域別）



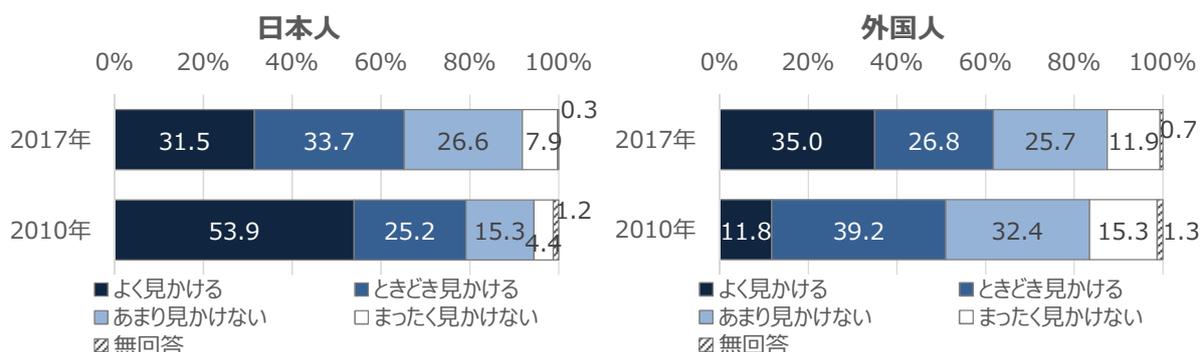
図表 1-1-3 観光客を見かける頻度（性別）



図表 1-1-4 観光客を見かける頻度（年代別）



図表 1-1-5 観光客を見かける頻度（過去調査との比較）



*2010年調査とは地域別構成比が異なるため、今回の調査結果との比較においては読み取り注意（例えば、2010年調査は宮古・八重山の構成比率が今回調査よりも4倍程度高い）。

2010年調査結果の出典：沖縄県「第5次沖縄県観光振興基本計画策定調査事業報告書」（2011年）

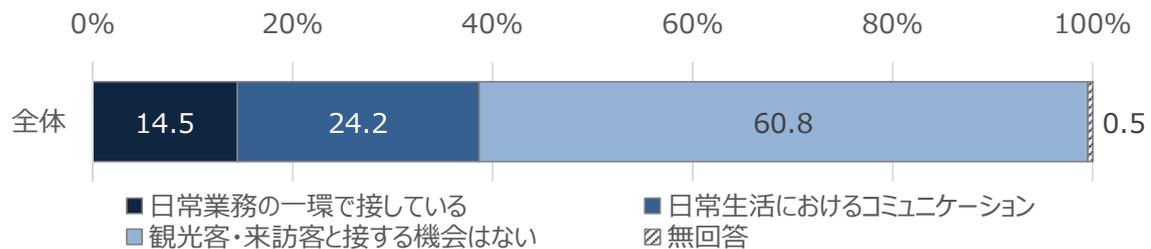
(2) 観光客と接する機会

Q あなたは、沖縄県内で観光客と接する機会がありますか。

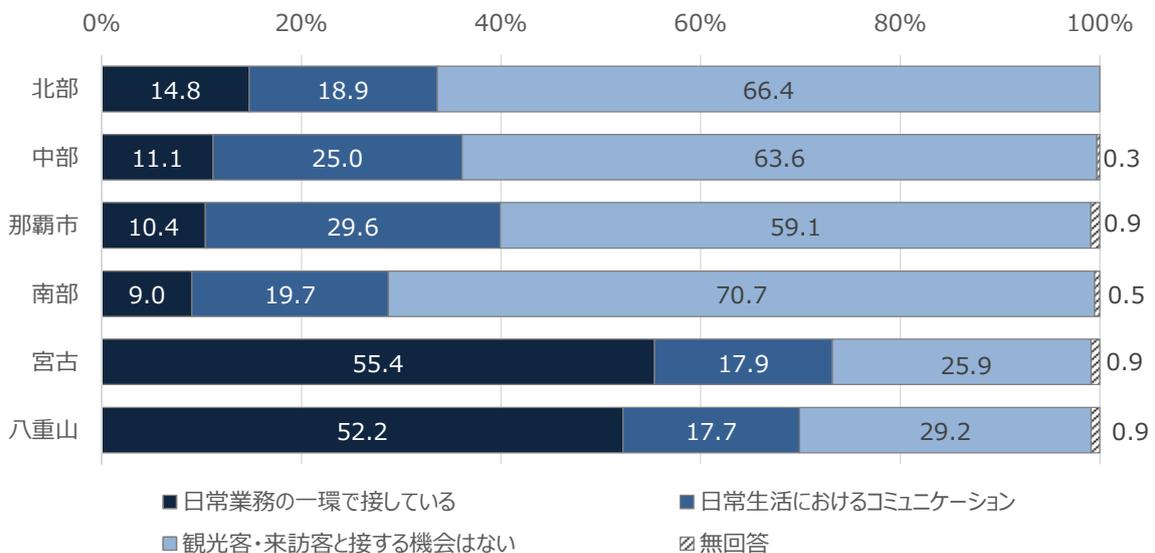
- 観光客と接する機会は、「日常業務の一環で接している」が 14.5%、「日常生活におけるコミュニケーションで接している」が 24.2%、「接する機会はない」が 60.8%であった。
- 地域別にみると、“宮古”、“八重山”で「日常業務の一環」が半数を超えた。一方、“南部”では同割合は1割を下回り、7割が「接する機会はない」と回答した。“北部”“中部”“那覇市”においても、「接する機会はない」が「日常業務や日常生活で接する」を上回った。
- 性別にみると、“女性”のほうが観光客と接する機会がやや多い。
- 年代別にみると、“20～40代”で観光客と接する機会が多い。

※調査票では複数回答で尋ねた。集計にあたっては、複数項目を選択した場合は観光客との接点が最も大きい項目を採用し、単一回答として分析を行った。（例えば、「日常業務の一環で接している」と「日常生活におけるコミュニケーション」の両方を選択した場合は、前者の「日常業務の一環で接している」を採用した。）

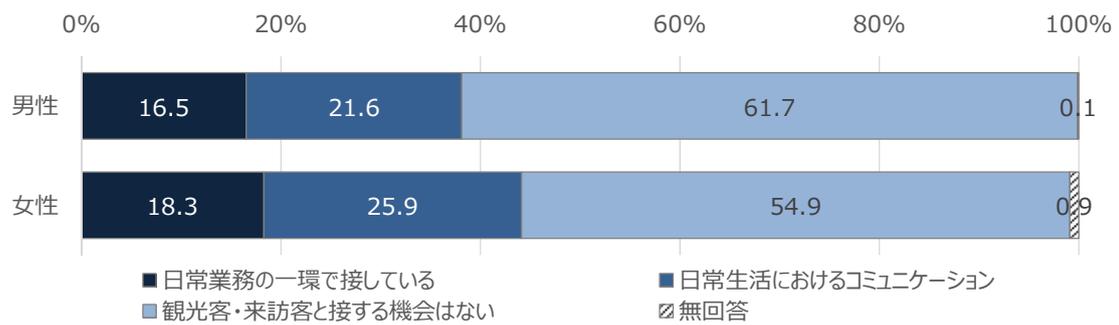
図表 1-2-1 観光客と接する機会



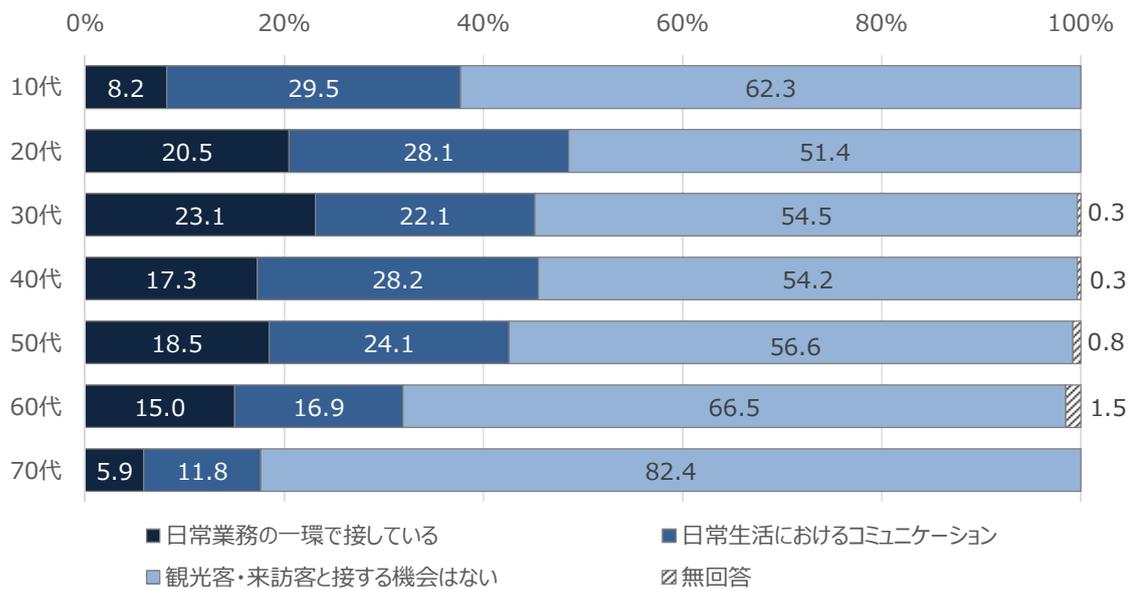
図表 1-2-2 観光客と接する機会（地域別）



図表 1-2-3 観光客と接する機会（性別）



図表 1-2-4 観光客と接する機会（年代別）



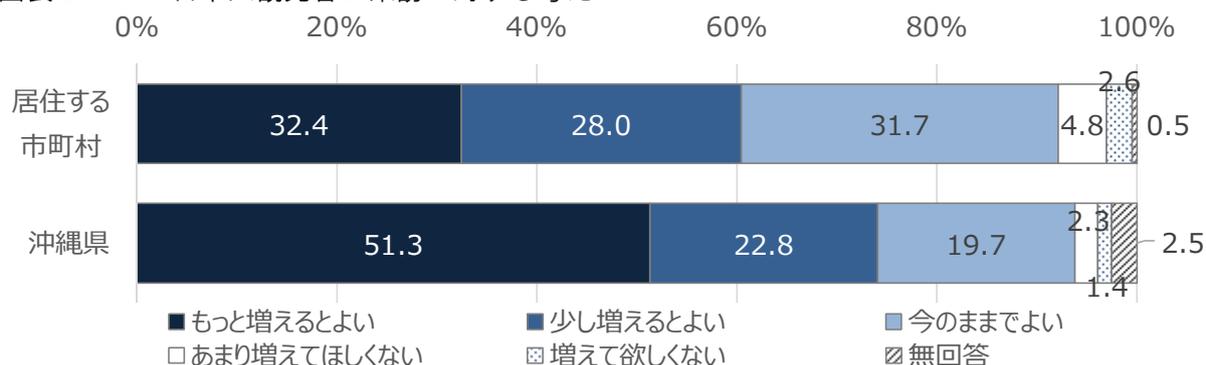
2. 沖縄観光に対する意識

(1) 日本人観光客の来訪に対する考え

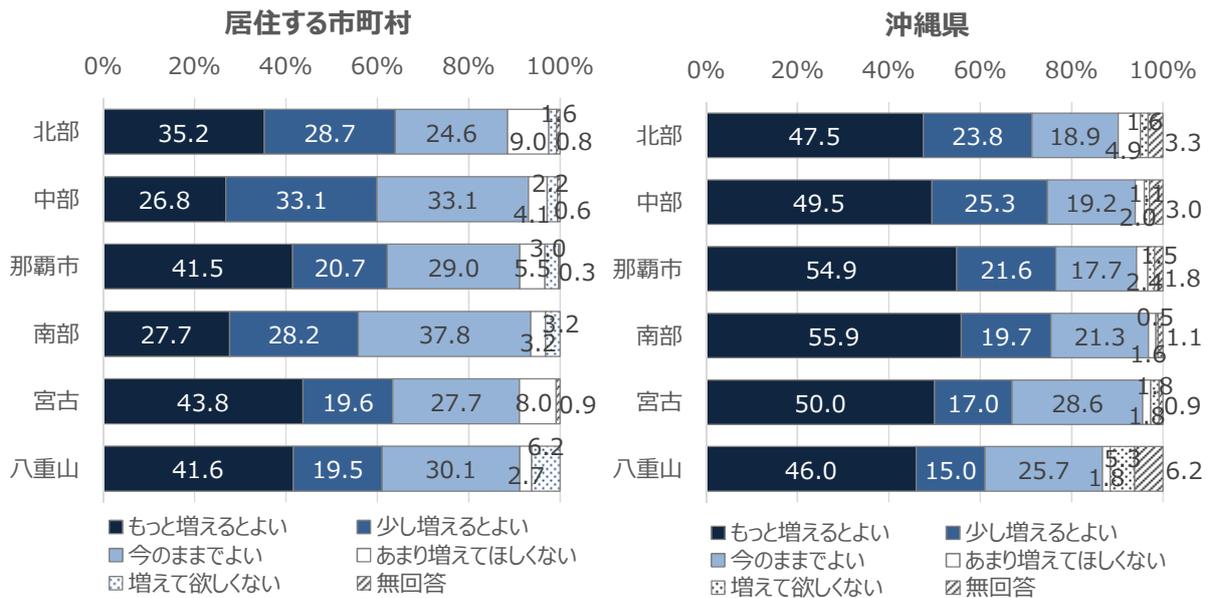
Q あなたがお住まいの地域や沖縄県を訪れる日本人観光客が、今後もっと増えるとよいと思いますか。

- 自分が居住する地域への日本人観光客の来訪に対しては「もっと増えるとよい」が 32.4%となり、「少し増えるとよい」と合わせた「増えて欲しい層」が 60.5%を占め、「増えて欲しくない層（あまり増えて欲しくない+増えて欲しくない）」7.4%を大幅に上回った。一方、沖縄県全体としては日本人観光客が「もっと増えるとよい」が半数以上を占めており、沖縄県としては増えて欲しいが、居住する地域には今のままでよい、といったギャップがみられた。
- 地域別にみると、居住する市町村への来訪に対しては“八重山”、“宮古”、“那覇市”で「もっと増えるとよい」が多く、“中部”、“南部”では「今のままでよい」が「もっと増えるとよい」を上回る。一方、沖縄県への来訪に対しては、地域間による意向の差は小さく、いずれの地域も「もっと増えるとよい」が約 5 割程度と高い意向を示した。
- 性別では、居住市町村、沖縄県ともに、男女による大きな差はみられない。
- 年代別では、居住市町村、沖縄県ともに、特に“50代”が「もっと増えるとよい」と回答。
- 観光客と接する機会別では、“日常業務の一環で接している”で増加意向が高い。
- 観光客を見かける頻度別にみると、“よく見かける”人ほど増加意向が高く、見かける頻度の低下にともない、増加意向も低下している。この傾向は、特に、居住市町村において顕著であった。

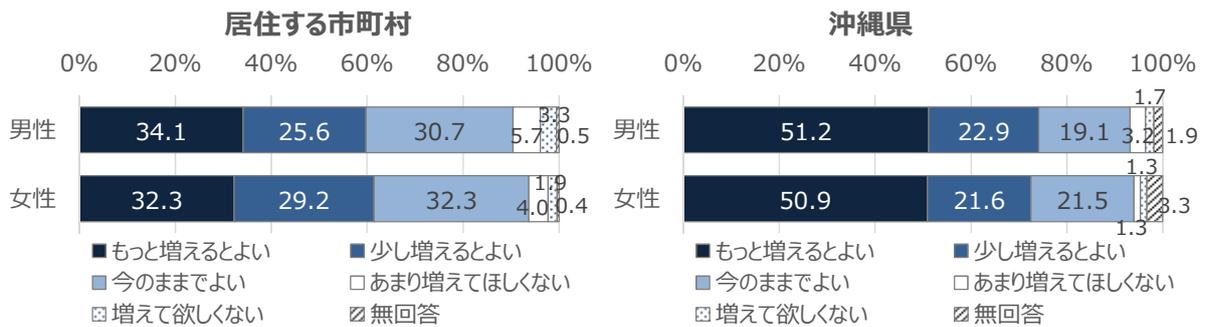
図表 2-1-1 日本人観光客の来訪に対する考え



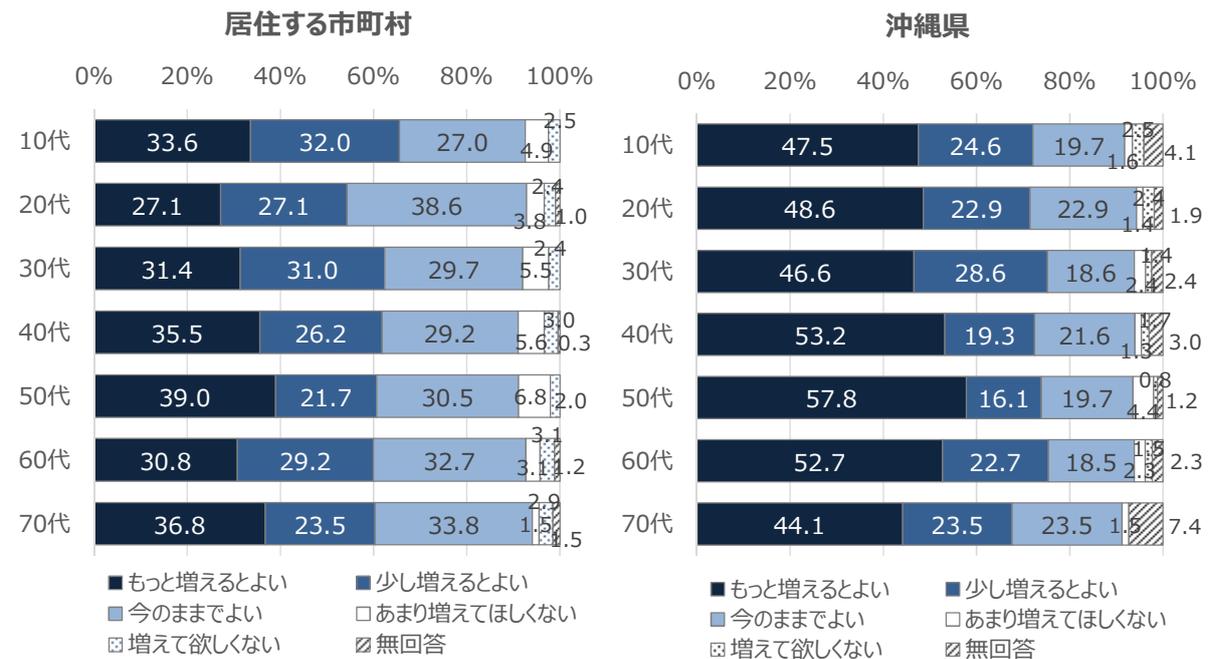
図表 2-1-2 日本人観光客の来訪に対する考え（地域別）



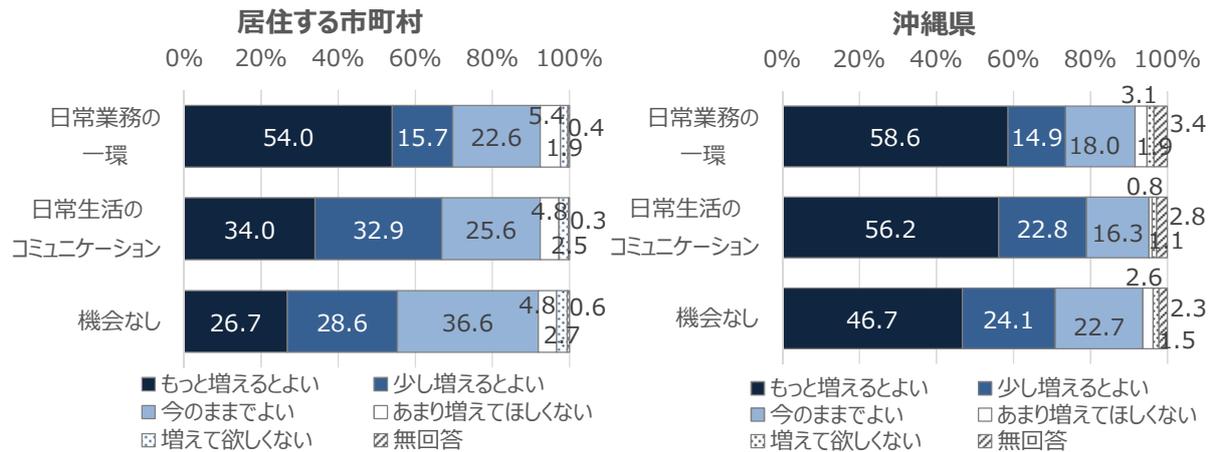
図表 2-1-3 日本人観光客の来訪に対する考え（性別）



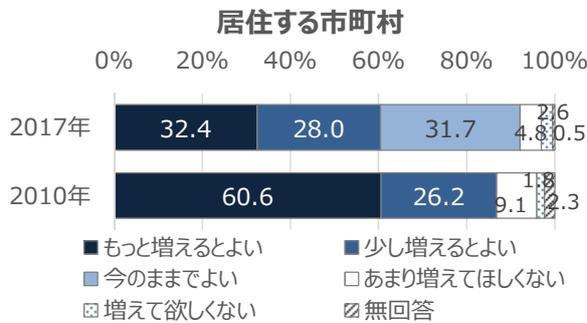
図表 2-1-4 日本人観光客の来訪に対する考え（年代別）



図表 2-1-5 日本人観光客の来訪に対する考え（観光客と接する機会別）



図表 2-1-6 日本人観光客の来訪に対する考え（過去調査との比較）

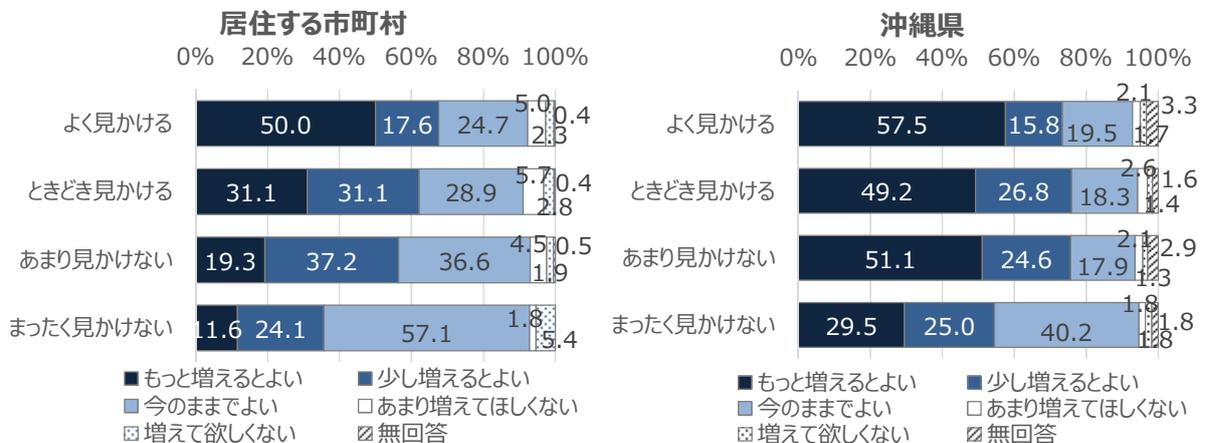


*2010年調査では、「もっと増えるとうい」「少し増えるとうい」「あまり増えてほしくない」「増えて欲しくない」の4段階の選択肢（「今のままでよい」なし）だったため、今回の調査結果とは直接比較することはできない。

*2010年調査とは地域別構成比が異なるため、今回の調査結果との比較においては読み取り注意（例えば、2010年調査は宮古・八重山の構成比率が今回調査よりも4倍程度高い）。

2010年調査結果の出典：沖縄県「第5次沖縄県観光振興基本計画策定調査事業報告書」（2011年）

図表 2-1-7 日本人観光客の来訪に対する考え（日本人観光客を見かける頻度別）

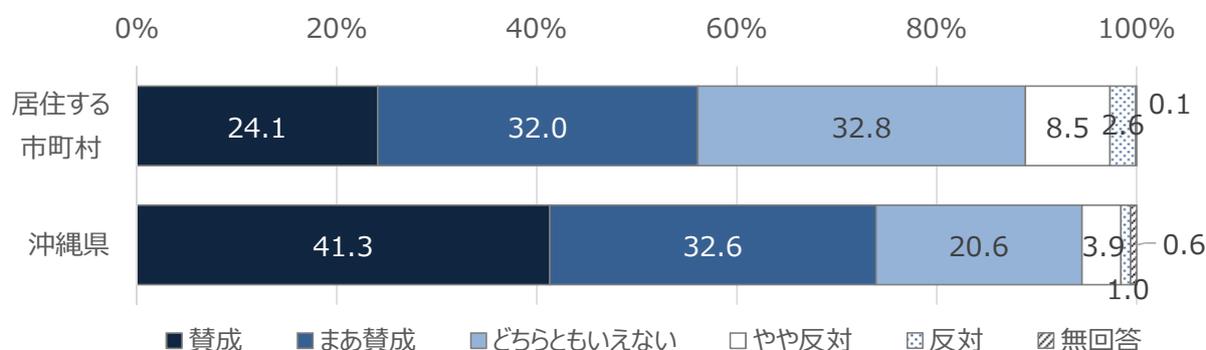


(2) 外国人観光客の来訪についての賛否

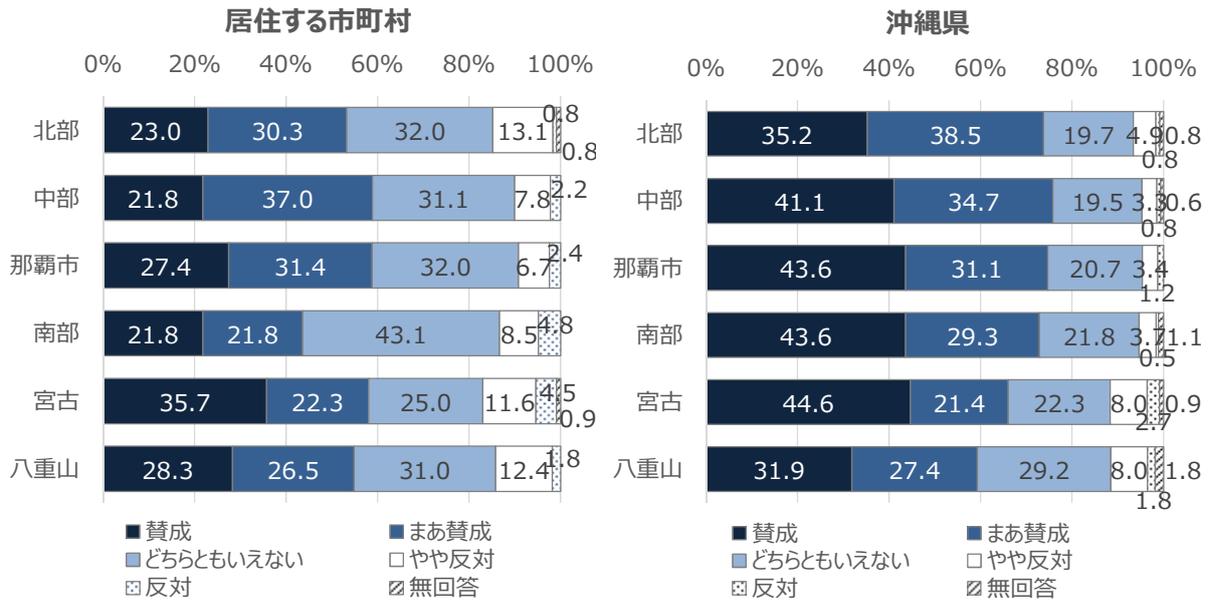
Q あなたがお住まいの地域や沖縄県へ外国人観光客が訪れることについてどうお考えですか。

- 居住地域への外国人観光客の来訪についての賛否では、「賛成」が 24.1%、「まあ賛成」が 32.0%と「賛成派」が 56.1%を占めた。一方、「反対派（やや反対+反対）」は 11.0%であった。沖縄県全体としては「賛成」が 41.3%、「賛成派（賛成+まあ賛成）」が 73.9%を占めた。日本人観光客同様、外国人観光客についても、沖縄県全体と居住地域とではギャップがみられた。
- 地域別にみると、居住する市町村への来訪に対しては“宮古”、“八重山”、“那覇市”で「賛成」が多いものの、“宮古”、“八重山”では「反対派」が他地域に比べて多い。「賛成」が少ないのは“南部”、“中部”、“北部”で、特に、“南部”では「賛成派」が半数を下回る。一方、沖縄県への来訪に対しては、“宮古”、“八重山”で賛成派が少なく、反対派がやや多い。
- 性別では、居住市町村、沖縄県ともに、男女による大きな差はみられない。
- 年代別では、居住市町村、沖縄県ともに、特に“10代”で賛成派が多い。
- 観光客と接する機会別では、“日常業務や日常生活で接している”で賛成派が多い。
- 観光客を見かける頻度別にみると、“よく見かける”人ほど賛成派が多く、見かける頻度の低下にともない、賛成派が減少している。この傾向は、日本人観光客同様、特に、居住市町村において顕著であった。

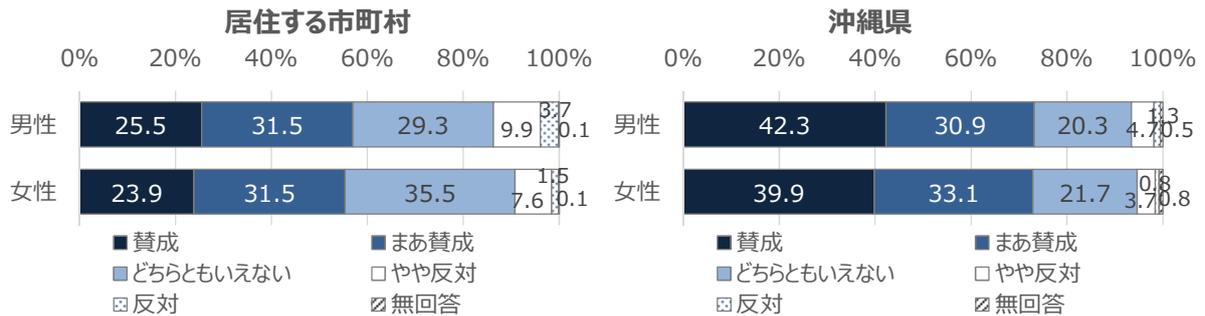
図表 2-2-1 外国人観光客の来訪についての賛否



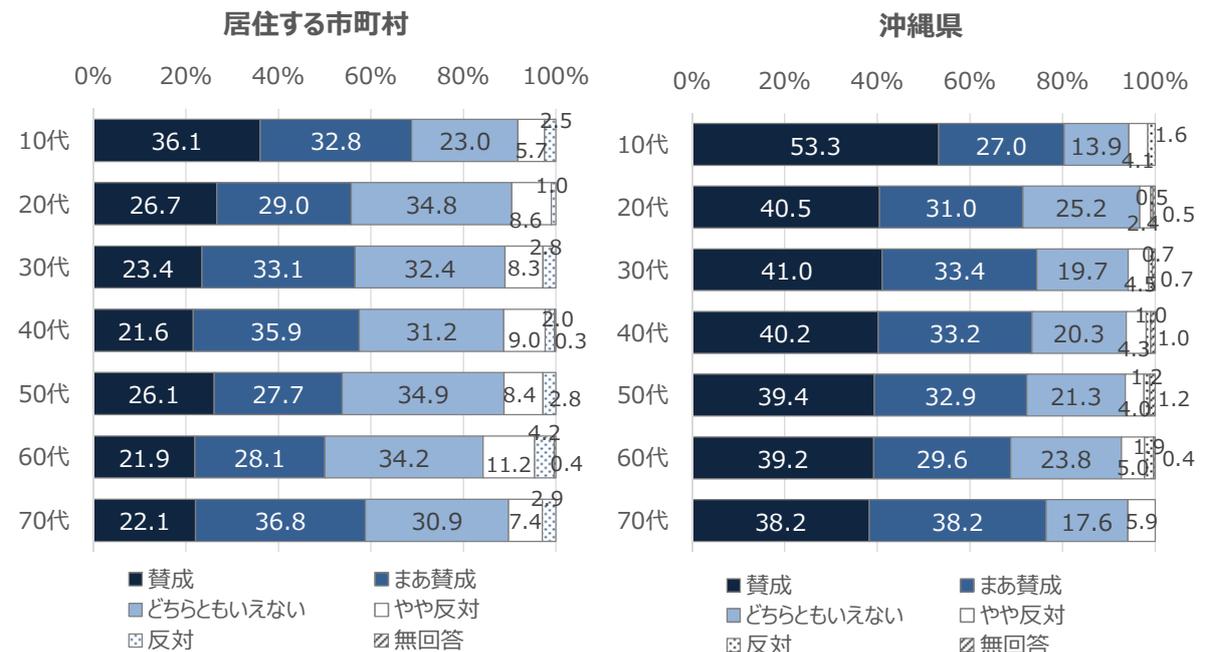
図表 2-2-2 外国人観光客の来訪についての賛否（地域別）



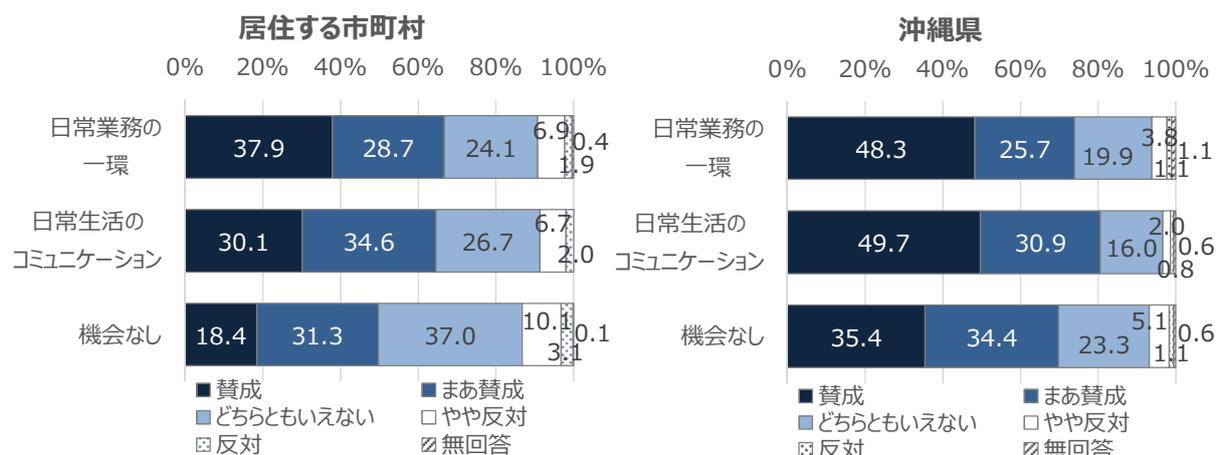
図表 2-2-3 外国人観光客の来訪についての賛否（性別）



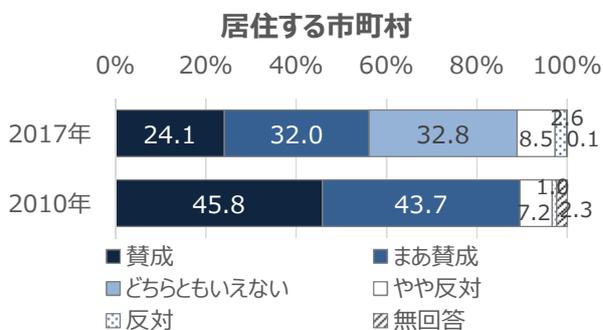
図表 2-2-4 外国人観光客の来訪についての賛否（年代別）



図表 2-2-5 外国人観光客の来訪についての賛否（観光客と接する機会別）



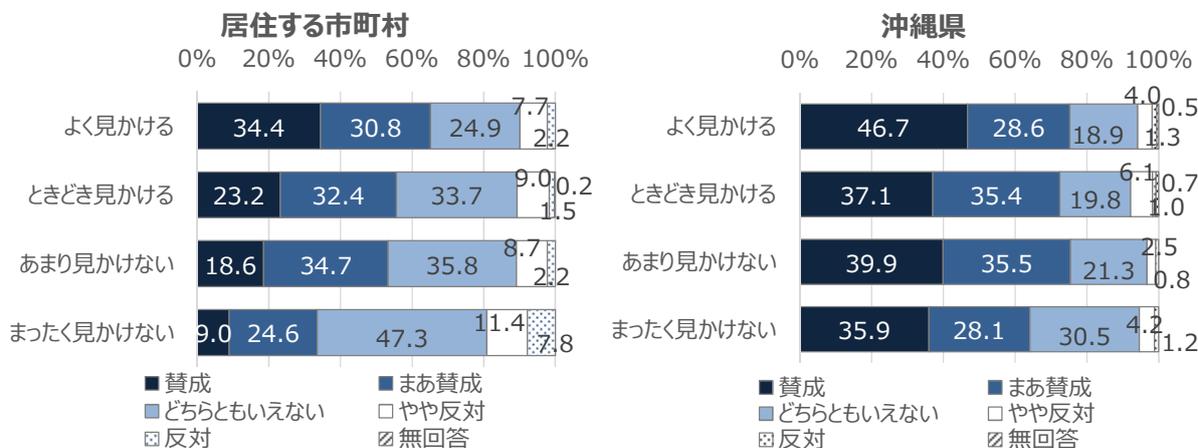
図表 2-2-6 外国人観光客の来訪についての賛否（過去調査との比較）



*2010年調査では、「賛成」「まあ賛成」「やや反対」「反対」の4段階の選択肢（「どちらともいえない」なし）だったため、今回の調査結果とは直接比較することはできない。
 *2010年調査とは地域別構成比が異なるため、今回の調査結果との比較においては読み取り注意（例えば、2010年調査は宮古・八重山の構成比率が今回調査よりも4倍程度高い）。

2010年調査結果の典拠：沖縄県「第5次沖縄県観光振興基本計画策定調査事業報告書」（2011年）

図表 2-2-7 外国人観光客の来訪についての賛否（外国人観光客を見かける頻度別）

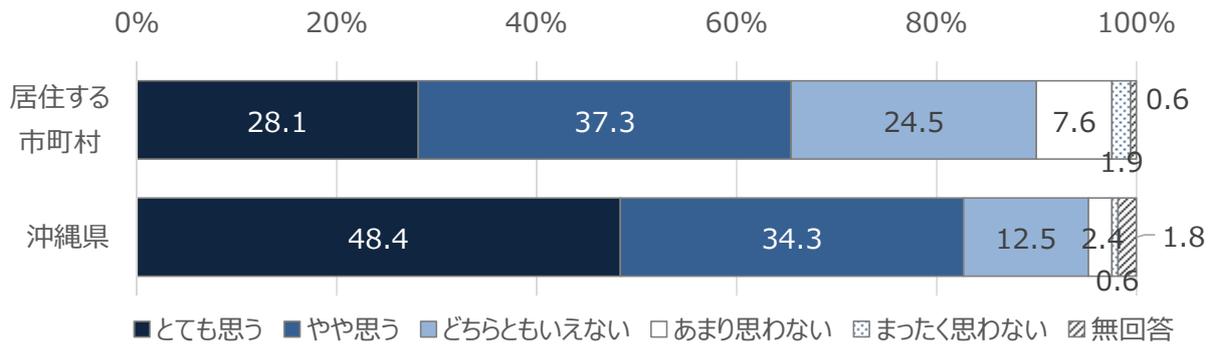


(3) 観光の発展への期待

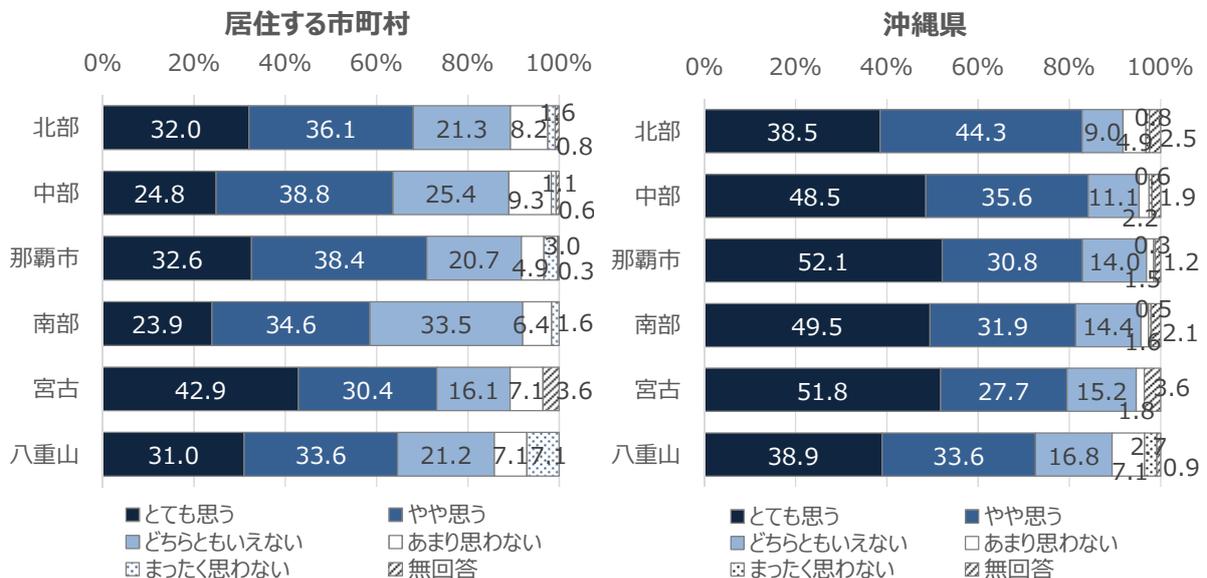
Q あなたがお住まいの地域や沖縄県の観光が、もっと盛んになるといいと思いますか。

- 居住地域の観光の発展を期待する人の割合は、「とても思う」が 28.1%となり、「やや思う」と合わせた「期待する派」が 65.5%を占め、「期待しない派（あまり思わない+まったく思わない）」9.4%を大幅に上回った。沖縄県全体としては「期待する派」が 82.7%を占めており、観光の発展への期待は大きい。
- 地域別でみると、居住する市町村は、特に“宮古”での期待が大きい。沖縄県全体では、地域間による期待の差はやや小さく、全体的に高い期待を寄せている。
- 性別では、居住市町村、沖縄県ともに、男性のほうがやや「期待する派」が多い。
- 年代別では、居住市町村、沖縄県ともに、“10代”からの期待が大きい。
- 観光客と接する機会別では、“日常業務の一環で接している”からの期待が大きい。
- 観光客を見かける頻度別にみると、居住市町村においては、日本人・外国人ともに、“よく見かける”人ほど「期待する派」が多く、見かける頻度の低下にともない、「期待する派」が減少した。

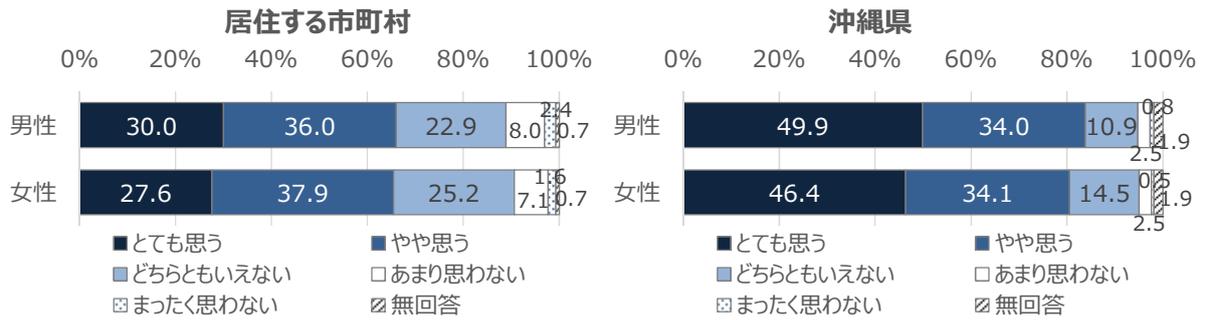
図表 2-3-1 観光がもっと盛んになるといいと思うか



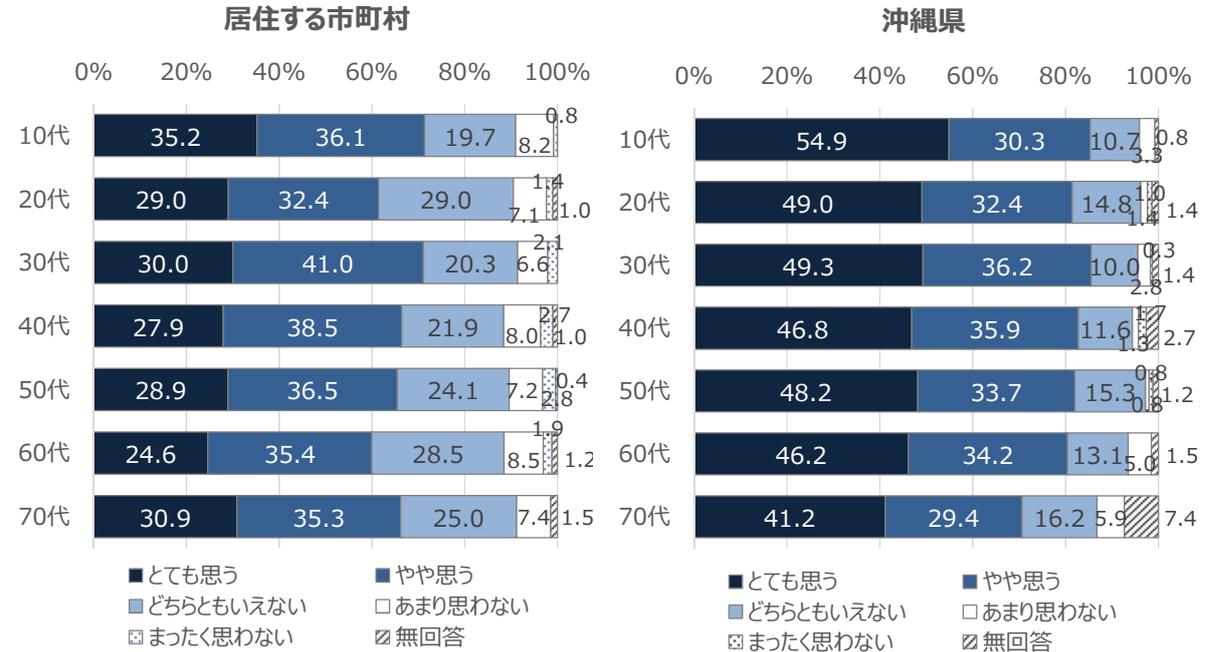
図表 2-3-2 観光がもっと盛んになるといいと思うか（地域別）



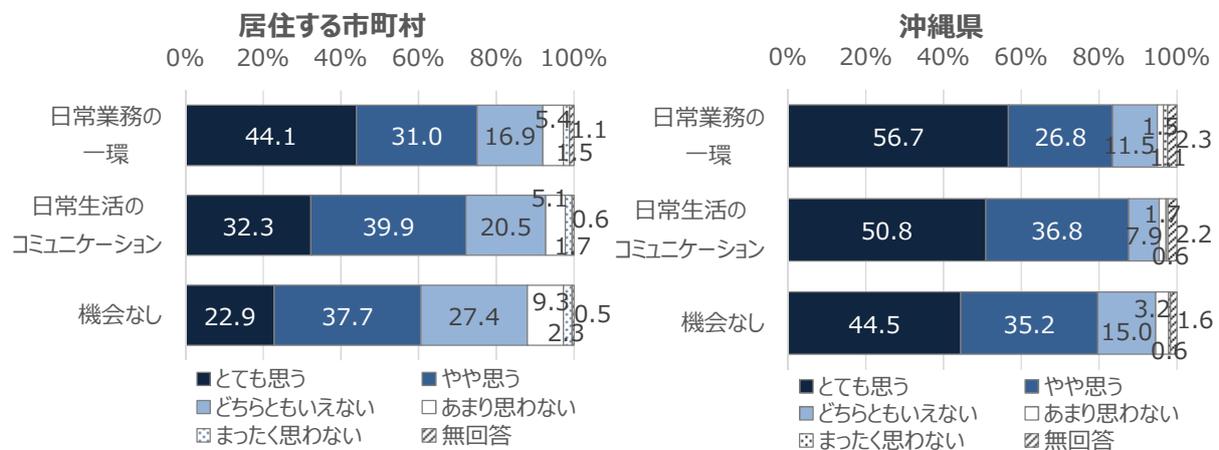
図表 2-3-3 観光がもっと盛んになるといいと思うか（性別）



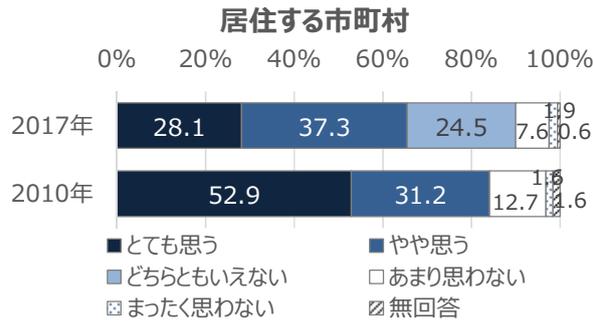
図表 2-3-4 観光がもっと盛んになるといいと思うか（年代別）



図表 2-3-5 観光がもっと盛んになるといいと思うか（観光客と接する機会別）



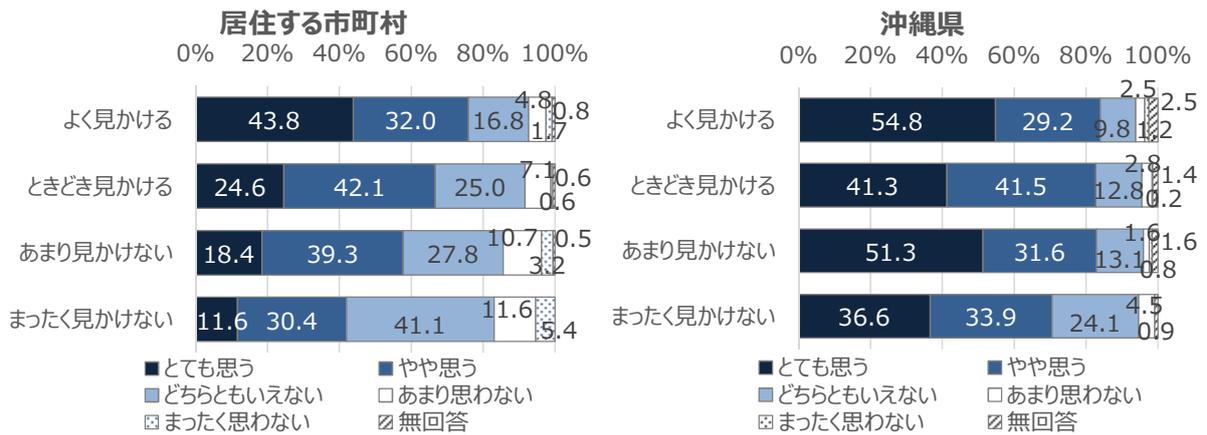
図表 2-3-6 観光がもっと盛んになるといいと思うか（過去調査との比較）



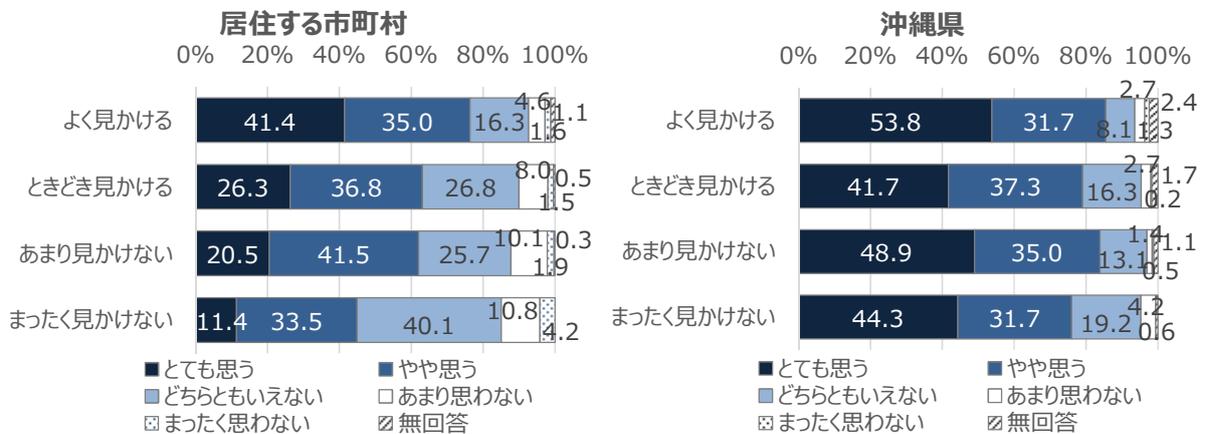
*2010年調査では、「とても思う」「やや思う」「あまり思わない」「まったく思わない」の4段階の選択肢（「どちらともいえない」なし）だったため、今回の調査結果とは直接比較することはできない。
 *2010年調査とは地域別構成比が異なるため、今回の調査結果との比較においては読み取り注意（例えば、2010年調査は宮古・八重山の構成比率が今回調査よりも4倍程度高い）。

2010年調査結果の出典：沖縄県「第5次沖縄県観光振興基本計画策定調査事業報告書」（2011年）

図表 2-3-7 観光がもっと盛んになるといいと思うか（日本人観光客を見かける頻度別）



図表 2-3-8 観光がもっと盛んになるといいと思うか（外国人観光客を見かける頻度別）

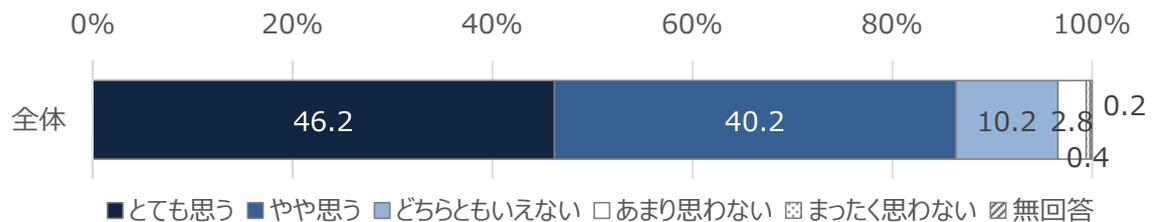


(4) 沖縄の発展における観光の重要性

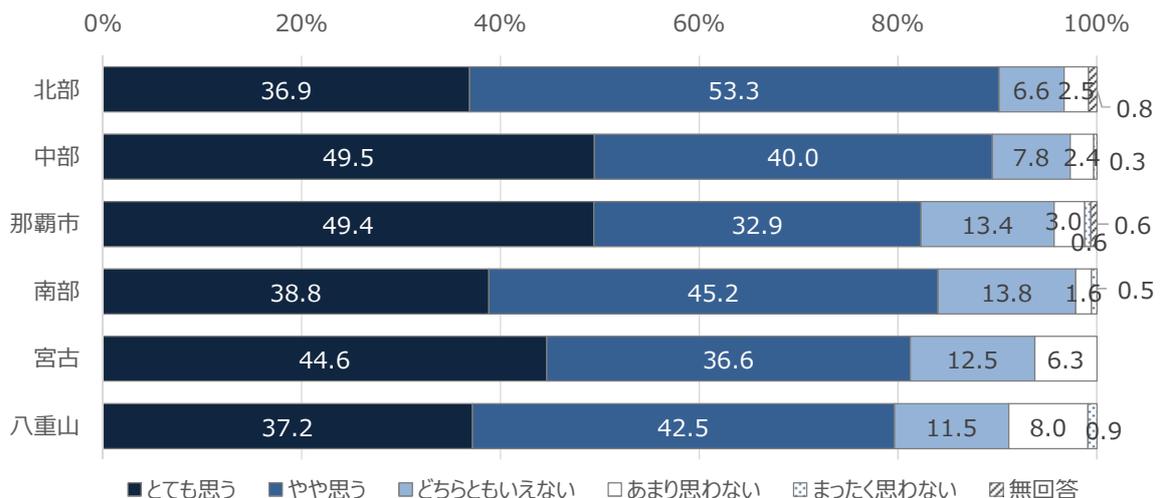
Q 沖縄県の発展には、観光が重要な役割を果たしていると思いますか。

- 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしているか、と尋ねたところ、「とても思う」が46.2%と約半数を占めた。「やや思う」を加えると、86.4%の人が観光の重要性を評価している。
- 地域別でみると、“中部”、“那覇市”で「とても思う」割合が高く、観光の重要性をより高く評価している。
- 性別では、男性のほうが観光の重要性を評価している。
- 年代別では、“30～50代”が、より高く評価している。
- 観光客と接する機会別では、“日常業務の一環で接している”人がより高く評価している。地域、性別、年代、機会のいずれにおいても、どの属性でも「やや思う」まで含めると8～9割が観光の重要性を評価しており、観光が担う役割について共通の認識が形成されていると考えられる。

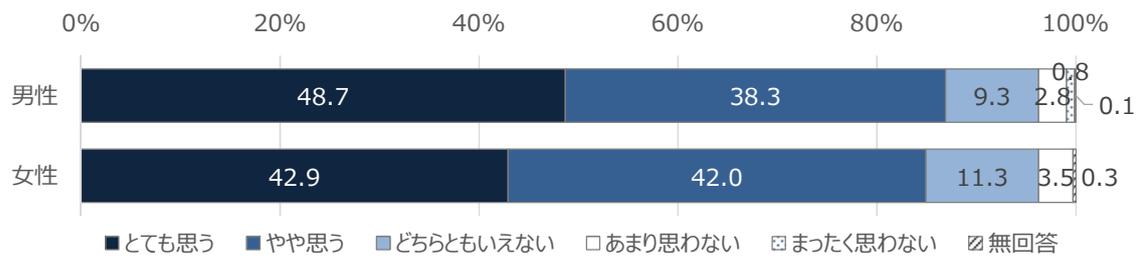
図表 2-4-1 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか



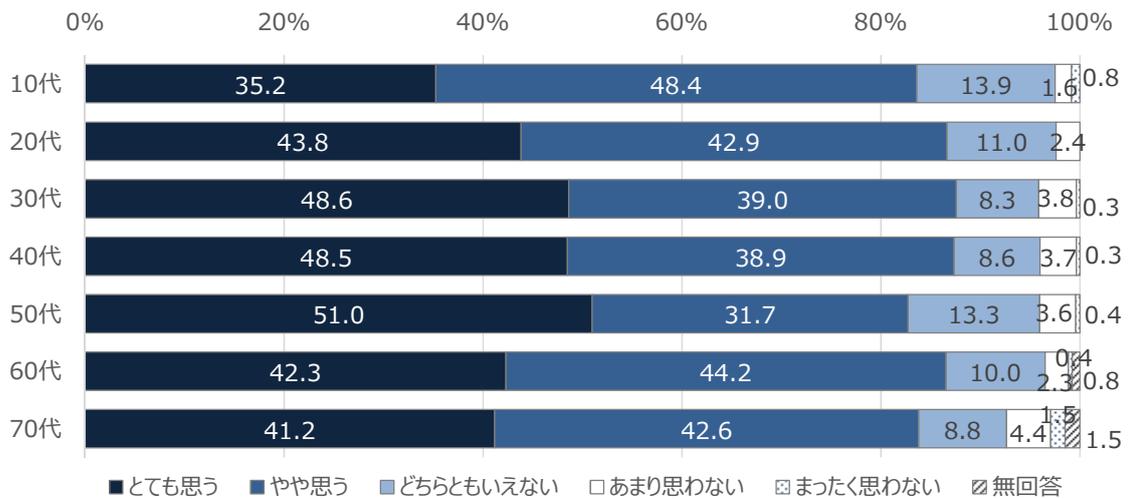
図表 2-4-2 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか（地域別）



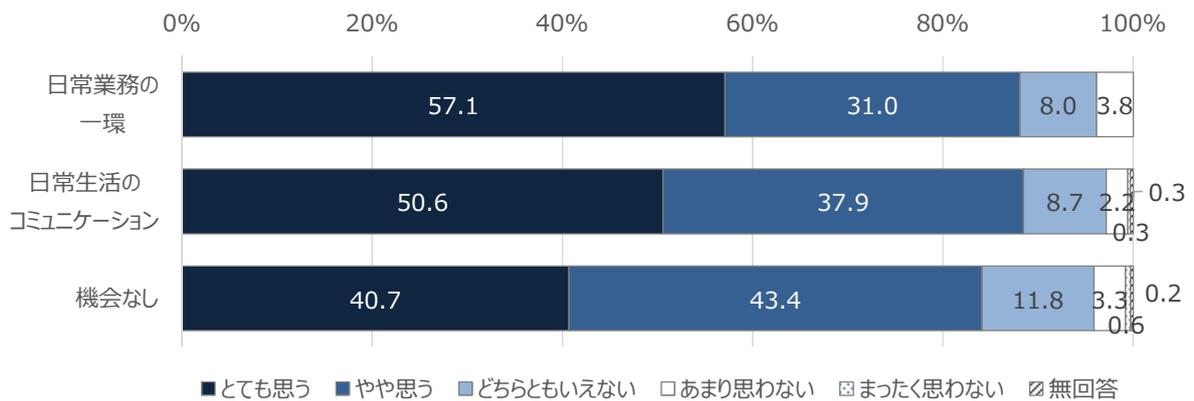
図表 2-4-3 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか（性別）



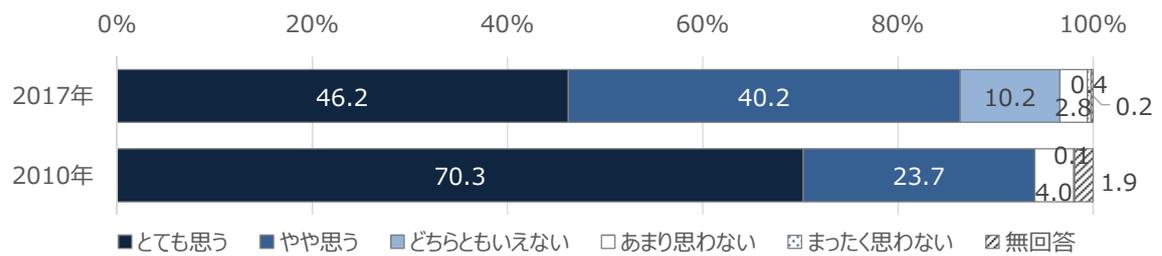
図表 2-4-4 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか（年代別）



図表 2-4-5 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか（観光客と接する機会別）



図表 2-4-6 沖縄の発展に観光が重要な役割を果たしていると思うか（過去調査との比較）



*2010年調査では、「とても思う」「やや思う」「あまり思わない」「まったく思わない」の4段階の選択肢（「どちらともいえない」なし）だったため、今回の調査結果とは直接比較することはできない。

*2010年調査とは地域別構成比が異なるため、今回の調査結果との比較においては読み取り注意（例えば、2010年調査は宮古・八重山の構成比率が今回調査よりも4倍程度高い）。

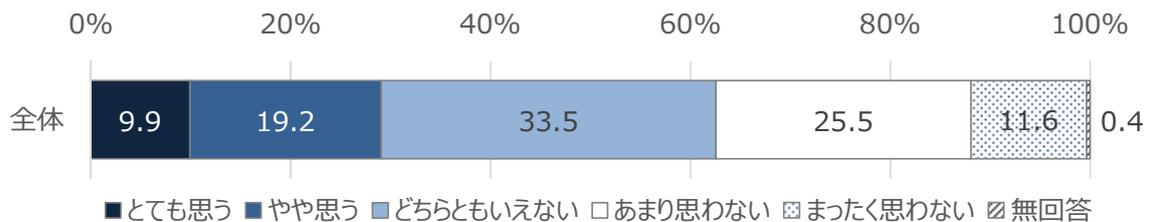
2010年調査結果の出典：沖縄県「第5次沖縄県観光振興基本計画策定調査事業報告書」（2011年）

(5) 観光の発展と生活の豊かさとのつながり

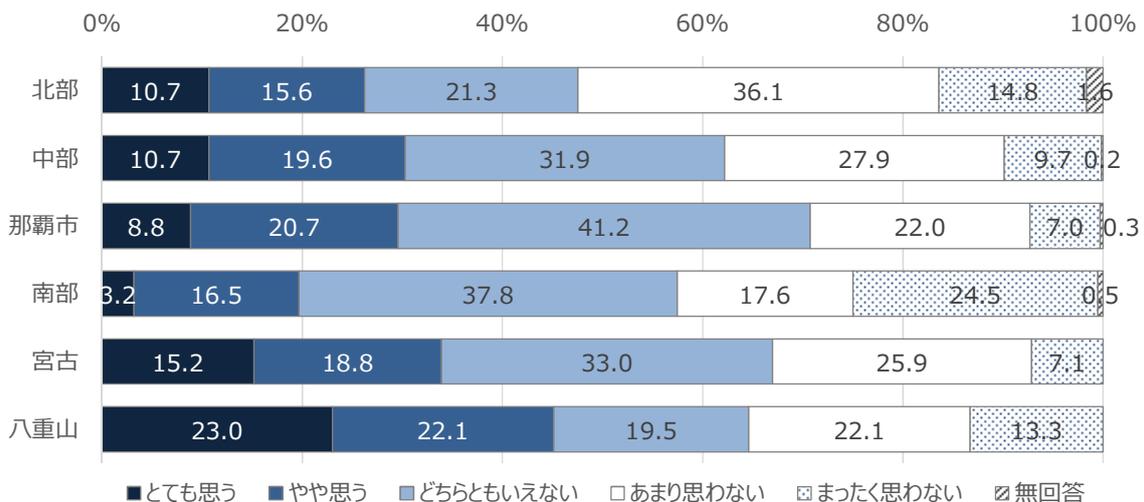
Q 観光が発展すると、あなたの生活も豊かになると思いますか。

- 観光が発展すると自分の生活も豊かになると思うかを尋ねたところ、「とても思う」と回答した人は 9.9%であった。「やや思う」とあわせて 29.1%の人が、観光の発展が自身の生活の豊かさにつながると捉えている。観光の果たす役割が多くの人に理解されている反面（認識率約 8.5 割）、生活の豊かさにつながらないと考える人が多い。
- 地域別でみると、“八重山”、“宮古”で、観光の発展と生活の豊かさとのつながりを感じている人が多い。
- 性別では、男性のほうが生活の豊かさとのつながりを感じている。
- 年代別では、特に“10代”が生活の豊かさにつながると捉えている。
- 観光客と接する機会別では、“日常業務の一環で接している”人が、生活の豊かさとのつながりを感じている。

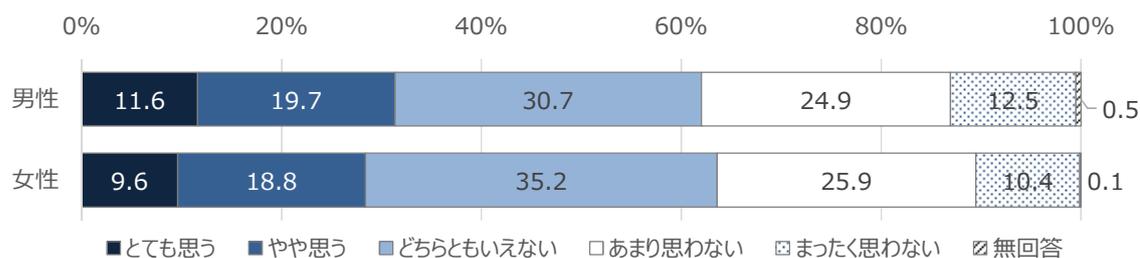
図表 2-5-1 観光が発展すると生活も豊かになると思うか



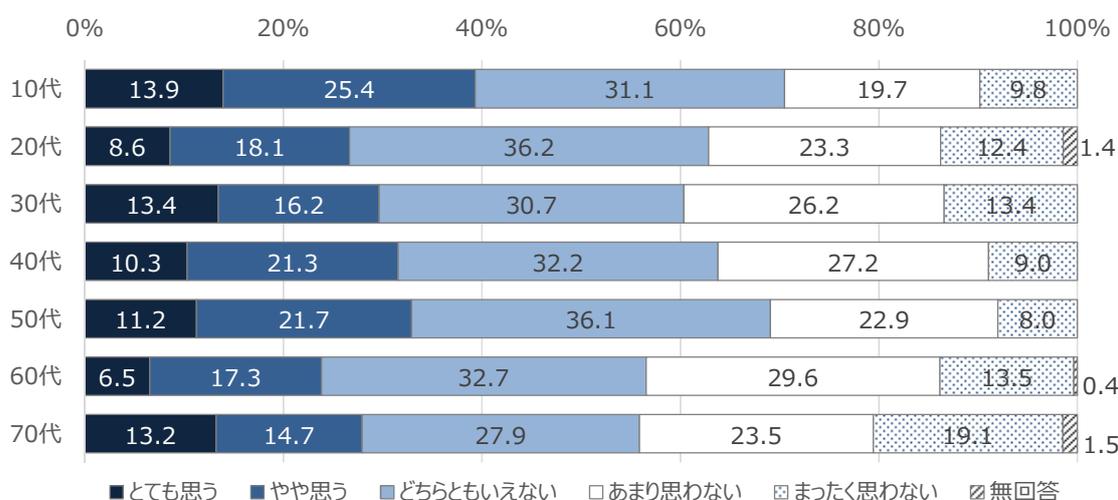
図表 2-5-2 観光が発展すると生活も豊かになると思うか（地域別）



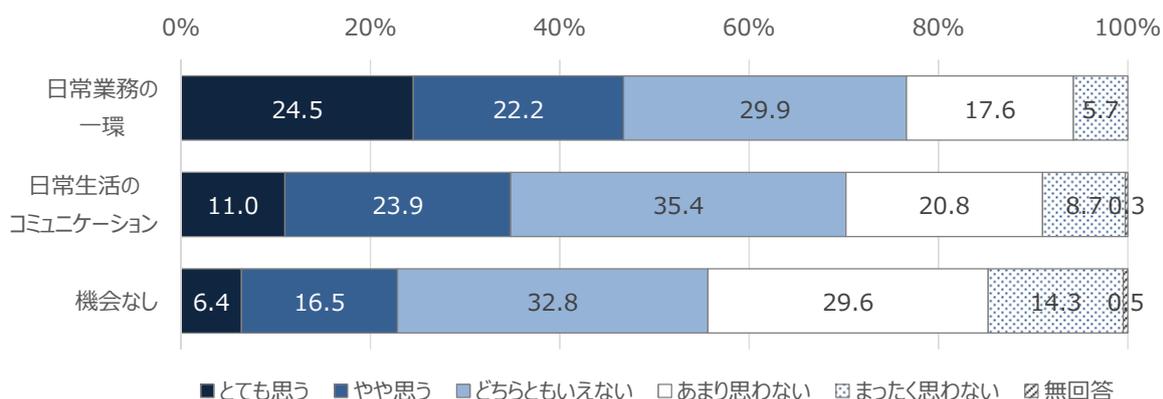
図表 2-5-3 観光が発展すると生活も豊かになると思うか（性別）



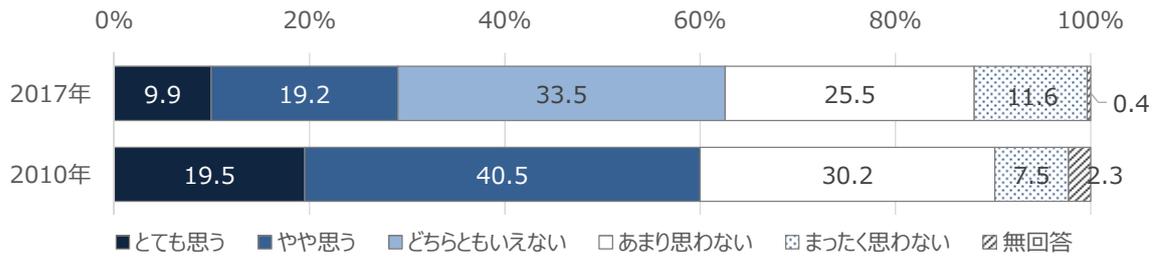
図表 2-5-4 観光が発展すると生活も豊かになると思うか（年代別）



図表 2-5-5 観光が発展すると生活も豊かになると思うか（観光客と接する機会別）



図表 2-5-6 観光が発展すると生活も豊かになると思うか（過去調査との比較）



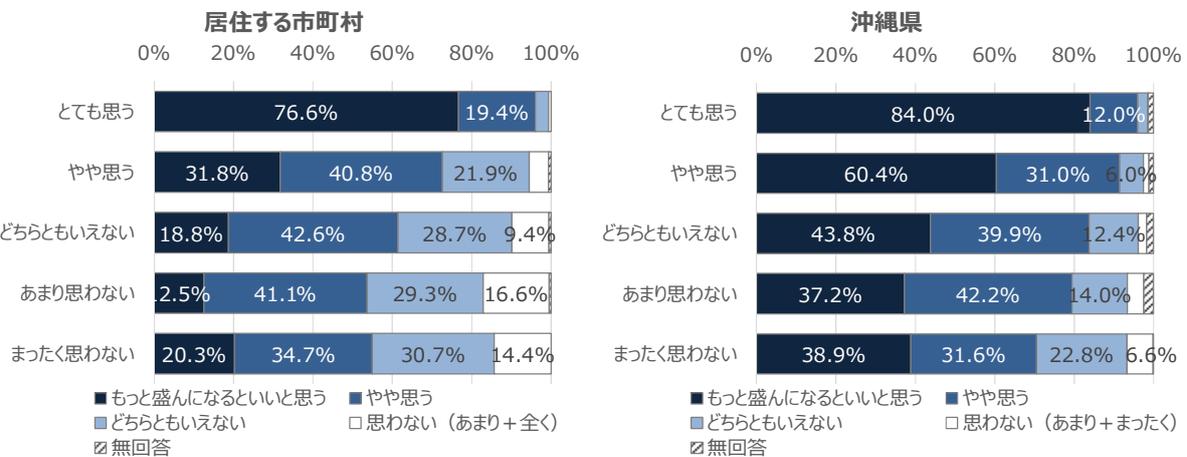
*2010年調査では、「とても思う」「やや思う」「あまり思わない」「まったく思わない」の4段階の選択肢（「どちらともいえない」なし）だったため、今回の調査結果とは直接比較することはできない。
 *2010年調査とは地域別構成比が異なるため、今回の調査結果との比較においては読み取り注意（例えば、2010年調査は宮古・八重山の構成比率が今回調査よりも4倍程度高い）。

2010年調査結果の出典：沖縄県「第5次沖縄県観光振興基本計画策定調査事業報告書」（2011年）

コラム：観光の発展と生活の豊かさとのつながり×観光発展への期待

- 観光の発展が生活の豊かさにつながると感じる人は、観光発展への期待が大きく、つながりが感じられない人は期待が小さい。
- 観光の発展が自身の生活の豊かさにつながらないと思いつつ、観光発展を望んでいる人は、観光客の来訪による自身の生活環境への影響が特にないと考えている人が多い。

図表 2-5-7 観光の発展と生活の豊かさとのつながり×観光発展への期待



図表 2-5-8 観光の発展と生活の豊かさとのつながり×観光発展への期待×観光客による影響

	観光の発展が自身の生活の豊かさにつながる		観光の発展が自身の生活の豊かさにつながらない	
	観光発展を期待する派	観光発展を期待しない派	観光発展を期待する派	観光発展を期待しない派
地域経済、雇用、地域産業が促進される	60.5	75.0	38.4	24.2
インフラが整備される	49.9	25.0	32.5	21.2
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	35.1	25.0	40.3	69.7
バスや自家用車の混雑等により、交通が不便になる	30.0	25.0	39.4	51.5
人的・文化的交流が促進される	45.3	25.0	20.5	6.1
治安が悪化する	23.2	50.0	24.7	45.5
市民が活躍する場が増加する	28.3	25.0	16.1	3.0
文化資源や自然資源が保存・継承される	29.1	0.0	15.9	6.1
自然資源や文化資源に悪影響が出る	12.1	0.0	17.6	42.4
まちなみや景観が損なわれる	10.2	25.0	11.7	48.5
誇りにつながる	18.2	0.0	7.3	3.0
物価が上昇する	9.2	0.0	10.0	30.3
その他	1.9	0.0	1.5	6.1
特に影響はない	3.9	0.0	18.1	9.1
無回答	0.5	0.0	0.0	0.0

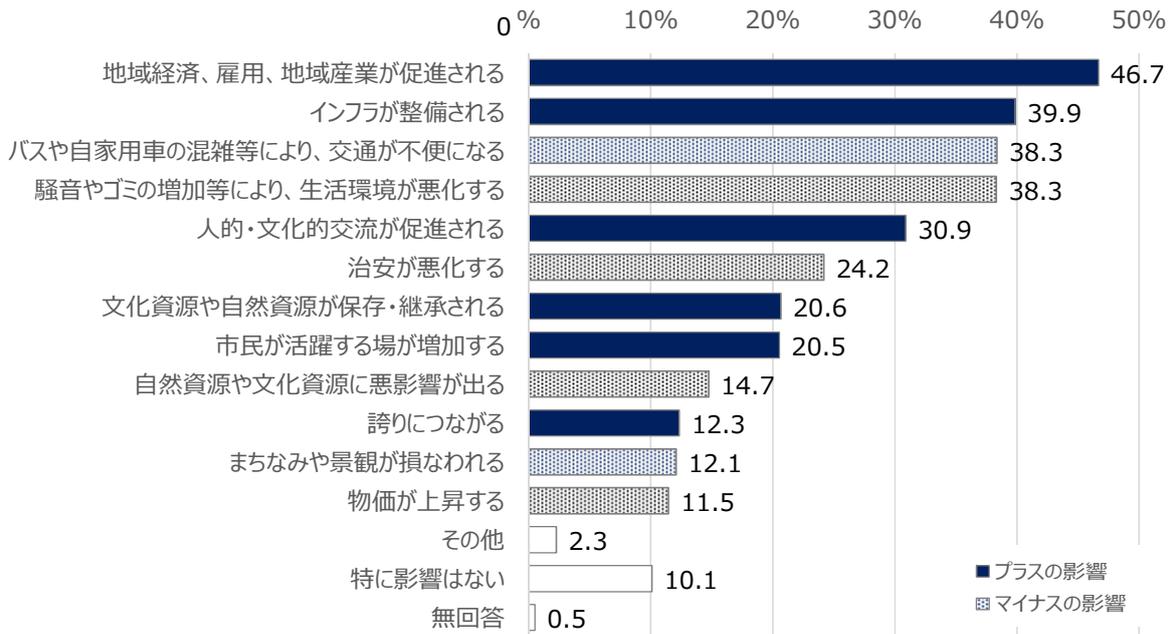
3. 観光客来訪による影響

(1) 観光客が訪れることによる影響

Q 観光客が訪れることで、あなたの生活環境にどのような影響があると感じていますか。

- 観光客が訪れることによる影響としては、「地域経済、雇用、地域産業が促進される」が 46.7% と半数近くから挙げられてもっとも多かった。次いで「インフラが整備される」39.9%、「バスや自家用車の混雑等により交通が不便になる」38.3%、「騒音やゴミの増加等により生活環境が悪化する」38.3%、「人的・文化的交流が促進される」30.9%までが 3 割以上で続く。プラスの影響としては経済・インフラ面、マイナスの影響としては生活環境・交通面が多く挙げられた。
- 地域別でみると、“北部”では「生活環境の悪化」「治安の悪化」、「中部」では「地域経済等の促進」「インフラ整備の促進」、「那覇市」では「地域経済・雇用・産業の促進」「交通の不便」、「南部」では「インフラ整備の促進」「交通の不便」、「宮古」では「生活環境の悪化」「地域経済・雇用・産業の促進」、「八重山」では「地域経済・雇用・産業の促進」「生活環境の悪化」「交通の不便」が多い。
- 性別にみると、男女間で傾向に大きな差はみられない。
- 年代別では、“10代”は「生活環境の悪化」「交流の促進」、「20代」と“40代”は「地域経済・雇用・産業の促進」「生活環境の悪化」、「30代」と“70代”は「地域経済・雇用・産業の促進」「交通の不便」、「50～60代”は「地域経済・雇用・産業の促進」「インフラ整備の促進」が多い。
- 観光客と接する機会別では、いずれも「地域経済・雇用・産業の促進」がもっとも多い。
- 観光の発展への期待別では、“期待しない派”は「生活環境の悪化」「交通の不便」「治安の悪化」などを懸念する人が多い。

図表 3-1-1 観光客が訪れることによる影響【複数回答】



※「その他」の自由記述で挙げられた内容：交通事故の増加／交通のマナーの悪さ（運転、歩道ではないところを歩く、住宅地までレンタカーが入り込んでいる等）／マナー・モラル・品格の低下／遊ぶところが減る／自転車の増加／情報リテラシーが活性化する／水不足、CO₂増加、海の埋め立て／県外企業の進出でいいことも悪いことも起こり得る／文化の違いでのトラブルが増えそう／基地問題に目が向けられる可能性がある

図表 3-1-2 観光客が訪れることによる影響（地域別）【複数回答】

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
地域経済、雇用、地域産業が促進される	26.2	52.7	51.5	32.4	37.5	50.4
インフラが整備される	24.6	42.4	45.7	34.6	35.7	31.9
バスや自家用車の混雑等により、交通が不便になる	31.1	37.0	49.7	33.5	19.6	37.2
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	47.5	36.1	41.5	28.2	59.8	37.2
人的・文化的交流が促進される	18.0	32.8	38.1	21.8	29.5	26.5
治安が悪化する	38.5	21.7	26.5	15.4	30.4	31.0
文化資源や自然資源が保存・継承される	9.0	26.1	18.3	18.6	11.6	14.2
市民が活躍する場が増加する	13.1	22.9	21.3	15.4	25.9	16.8
自然資源や文化資源に悪影響が出る	21.3	13.7	14.9	9.0	23.2	22.1
誇りにつながる	8.2	13.7	15.5	9.0	1.8	8.8
まちなみや景観が損なわれる	17.2	8.6	13.4	10.6	24.1	24.8
物価が上昇する	10.7	9.9	17.7	4.3	12.5	17.7
その他	2.5	2.5	1.8	2.7	0.9	1.8
特に影響はない	15.6	11.0	4.0	17.6	3.6	5.3
無回答	0.8	0.8	0.0	0.5	0.0	0.0

図表 3-1-3 観光客が訪れることによる影響（性別）【複数回答】

	男性 (%)	女性 (%)
地域経済、雇用、地域産業が促進される	46.7	46.3
インフラが整備される	40.8	38.0
バスや自家用車の混雑等により、交通が不便になる	38.1	37.1
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	39.5	38.7
人的・文化的交流が促進される	28.4	32.9
治安が悪化する	27.5	21.9
文化資源や自然資源が保存・継承される	18.0	22.1
市民が活躍する場が増加する	22.3	18.9
自然資源や文化資源に悪影響が出る	15.6	15.1
誇りにつながる	11.3	12.3
まちなみや景観が損なわれる	13.9	12.1
物価が上昇する	13.3	10.1
その他	2.4	2.0
特に影響はない	10.5	8.8
無回答	0.4	0.5

図表 3-1-4 観光客が訪れることによる影響（年代別）【複数回答】

	(%)							
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	
地域経済、雇用、地域産業が促進される	24.6	46.2	48.3	48.2	50.6	49.6	44.1	
インフラが整備される	28.7	37.1	36.9	39.2	50.2	39.6	36.8	
バスや自家用車の混雑等により、交通が不便になる	27.0	35.2	42.1	40.5	39.4	34.2	38.2	
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	39.3	38.6	35.5	42.2	41.0	38.5	36.8	
人的・文化的交流が促進される	38.5	31.0	28.6	30.9	31.7	27.7	30.9	
治安が悪化する	16.4	21.4	27.6	21.6	27.3	25.4	38.2	
文化資源や自然資源が保存・継承される	13.9	15.7	17.9	18.9	27.3	22.7	22.1	
市民が活躍する場が増加する	24.6	21.0	21.4	19.6	21.7	16.2	26.5	
自然資源や文化資源に悪影響が出る	8.2	11.0	15.5	17.9	16.9	17.3	16.2	
誇りにつながる	18.0	9.5	8.3	12.3	16.1	8.8	16.2	
まちなみや景観が損なわれる	8.2	9.0	14.1	14.3	12.0	16.9	11.8	
物価が上昇する	6.6	9.5	15.2	11.3	14.5	11.2	7.4	
その他	1.6	2.4	1.7	3.0	2.0	2.3	1.5	
特に影響はない	16.4	12.9	6.2	8.0	8.4	10.0	13.2	
無回答	0.0	0.0	1.0	0.3	0.0	0.8	1.5	

図表 3-1-5 観光客が訪れることによる影響（観光客と接する機会別）【複数回答】

	(%)		
	日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
地域経済、雇用、地域産業が促進される	49.0	51.7	43.7
インフラが整備される	39.1	43.5	37.7
バスや自家用車の混雑等により、交通が不便になる	31.4	41.0	38.1
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	46.4	40.4	36.3
人的・文化的交流が促進される	33.0	41.0	25.6
治安が悪化する	28.0	21.3	25.0
文化資源や自然資源が保存・継承される	18.4	24.7	18.5
市民が活躍する場が増加する	19.9	24.7	19.0
自然資源や文化資源に悪影響が出る	20.3	16.6	13.5
誇りにつながる	10.7	14.0	11.2
まちなみや景観が損なわれる	19.9	10.7	12.0
物価が上昇する	14.2	11.0	11.2
その他	2.3	2.8	1.9
特に影響はない	2.7	5.3	13.5
無回答	0.0	0.3	0.7

図表 3-1-6 観光客が訪れることによる影響（観光の発展への期待別）【複数回答】

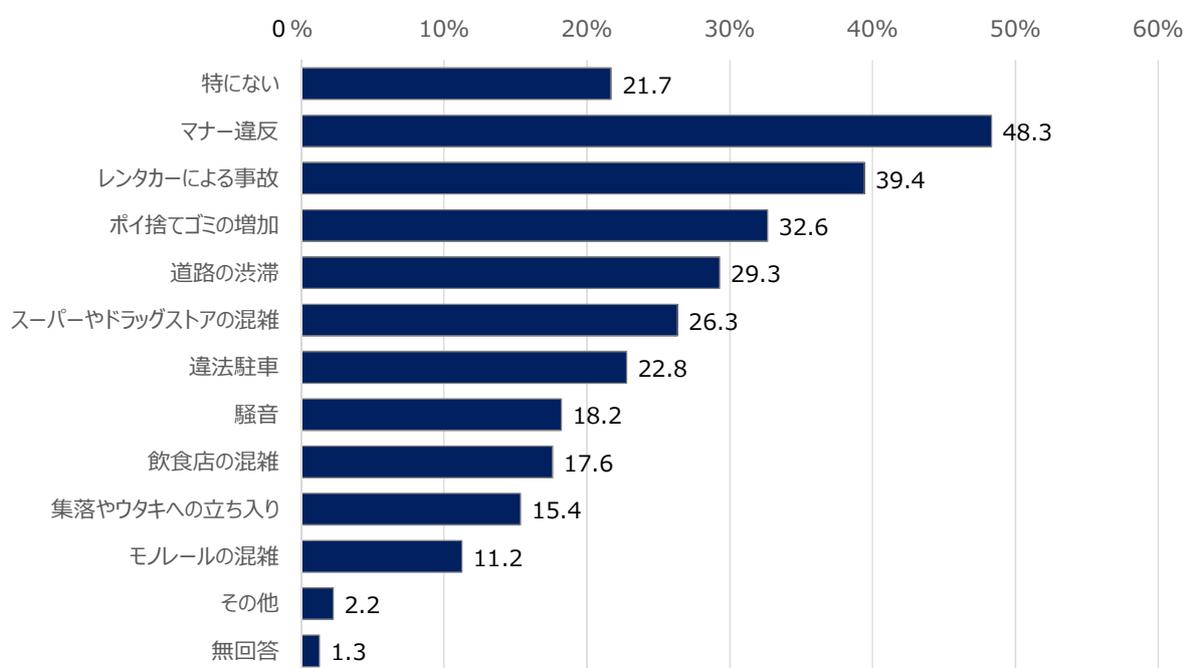
	(%)		
	期待する派	どちらともいえない	期待しない派
地域経済、雇用、地域産業が促進される	53.5	31.0	35.7
インフラが整備される	46.1	26.9	25.2
バスや自家用車の混雑等により、交通が不便になる	34.6	42.9	46.2
騒音やゴミの増加等により、生活環境が悪化する	35.2	44.9	52.4
人的・文化的交流が促進される	36.8	21.6	10.5
治安が悪化する	21.4	27.7	39.9
文化資源や自然資源が保存・継承される	24.1	11.6	13.3
市民が活躍する場が増加する	24.8	12.5	11.9
自然資源や文化資源に悪影響が出る	12.7	17.7	28.0
誇りにつながる	14.7	6.4	5.6
まちなみや景観が損なわれる	11.0	14.1	25.2
物価が上昇する	9.8	12.7	22.4
その他	1.7	2.5	4.9
特に影響はない	7.7	15.8	8.4
無回答	0.0	1.7	0.0

(2) 観光客に関して困っていること

Q 現在、沖縄県を訪れる観光客に関して困っていることがあれば教えてください。

- 観光客に関して困っていることとしては、「マナー違反」が 48.3%と半数近くから挙げられてもっとも多かった。次いで「レンタカーによる事故」39.4%、「ポイ捨てゴミの増加」32.6%、までが 3 割以上で続く。一方、「特にない」と回答した人は 21.7%であった。
- 地域別でみると、いずれの地域でも「マナー違反」「レンタカーによる事故」に困っている。その他地域によって特徴的な事項は、“北部”での「違法駐車」、「那覇市」での「モノレールの混雑」、「宮古」での「騒音」「集落やウタキへの立ち入り」、「八重山」での「ポイ捨てゴミの増加」「スーパーやドラッグストアの混雑」「飲食店の混雑」であった。さらに、“八重山”では「特にない」という回答が 2.7%と他地域に比べて低位に留まった。その一方で、“南部”では「特にない」が最も多い回答となった。
- 性別にみると、男女間で傾向に大きな差はみられない。「道路の渋滞」はやや男性のほうで、「スーパーやドラッグストアの混雑」はやや女性のほうが困っていることとして挙げた。
- 年代別にみると、大小はあるものの、“20 代以上”では年代間で傾向に大きな差はみられない。“10 代”は交通関係に関する回答が他年代に比べて少なく、「特にない」という回答も 3 割を占めた。
- 観光客と接する機会別では、いずれも「マナー違反」がもっとも多い。
- 観光の発展への期待別によっては傾向に大きな差はみられない。

図表 3-2-1 観光客に関して困っていること【複数回答】



図表 3-2-2 観光客に関して困っていること（地域別）【複数回答】

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
特にない	16.4	26.5	11.3	35.6	11.6	2.7
マナー違反	62.3	44.1	54.9	35.1	57.1	62.8
レンタカーによる事故	60.7	38.0	41.5	22.9	41.1	51.3
ポイ捨てゴミの増加	43.4	27.6	39.3	22.9	39.3	53.1
道路の渋滞	36.9	29.2	37.2	21.3	6.3	17.7
スーパーやドラッグストアの混雑	28.7	22.1	34.1	16.0	32.1	52.2
違法駐車	46.7	18.8	25.6	13.8	16.1	35.4
騒音	33.6	14.3	22.0	10.1	34.8	17.7
飲食店の混雑	20.5	14.6	22.3	13.8	18.8	29.2
集落やウタキへの立ち入り	15.6	13.0	15.9	16.0	33.0	18.6
モノレールの混雑	4.1	6.9	27.1	7.4	0.9	6.2
その他	4.9	1.4	2.4	2.7	0.0	5.3
無回答	0.8	0.5	1.5	1.6	7.1	2.7

図表 3-2-3 観光客に関して困っていること（性別）【複数回答】

	(%)	
	男性	女性
特にない	21.2	20.0
マナー違反	49.2	49.2
レンタカーによる事故	40.9	38.9
ポイ捨てゴミの増加	34.5	32.8
道路の渋滞	29.7	26.3
スーパーやドラッグストアの混雑	25.2	29.9
違法駐車	26.5	19.5
騒音	20.9	16.7
飲食店の混雑	18.1	18.0
集落やウタキへの立ち入り	18.4	13.9
モノレールの混雑	11.3	10.0
その他	2.0	2.5
無回答	1.5	1.6

図表 3-2-3 観光客に関して困っていること（年代別）【複数回答】

	(%)						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
特にない	31.1	20.0	14.1	20.6	16.9	24.2	30.9
マナー違反	38.5	43.3	54.5	46.8	52.6	54.2	42.6
レンタカーによる事故	14.8	40.0	45.9	45.5	40.6	39.6	33.8
ポイ捨てゴミの増加	32.8	32.9	34.5	31.6	34.1	35.4	35.3
道路の渋滞	13.1	32.9	33.1	31.9	27.7	22.7	22.1
スーパーやドラッグストアの混雑	20.5	28.1	31.4	27.2	30.1	26.9	16.2
違法駐車	5.7	31.4	29.0	21.9	22.1	21.2	17.6
騒音	13.9	18.6	19.0	18.9	20.9	18.8	19.1
飲食店の混雑	20.5	22.9	19.0	14.6	18.1	19.2	5.9
集落やウタキへの立ち入り	11.5	12.4	17.9	14.6	18.9	18.5	16.2
モノレールの混雑	13.1	11.4	9.3	10.3	11.6	9.6	11.8
その他	0.8	2.9	2.4	2.3	2.4	2.7	0.0
無回答	3.3	1.9	2.1	1.0	1.6	0.4	1.5

図表 3-2-4 観光客に関して困っていること（観光客と接する機会別）【複数回答】

	(%)		
	日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
特になし	10.3	16.6	25.5
マナー違反	60.2	48.3	46.1
レンタカーによる事故	49.0	43.0	35.9
ポイ捨てゴミの増加	43.3	33.7	30.6
道路の渋滞	21.8	35.4	27.0
スーパーやドラッグストアの混雑	34.9	30.1	24.0
違法駐車	31.4	23.0	20.7
騒音	24.5	17.7	17.5
飲食店の混雑	20.3	17.1	17.8
集落やウタキへの立ち入り	24.9	18.3	12.7
モノレールの混雑	7.7	11.2	11.4
その他	5.7	2.0	1.4
無回答	2.3	1.1	1.5

図表 3-2-5 観光客に関して困っていること（観光の発展への期待別）【複数回答】

	(%)		
	期待する派	どちらともいえない	期待しない派
特になし	20.5	22.4	16.8
マナー違反	48.4	49.3	57.3
レンタカーによる事故	38.5	39.9	50.3
ポイ捨てゴミの増加	33.2	31.9	42.0
道路の渋滞	26.7	31.0	30.8
スーパーやドラッグストアの混雑	27.7	26.6	29.4
違法駐車	22.6	22.7	26.6
騒音	17.0	21.3	23.8
飲食店の混雑	17.0	20.2	21.0
集落やウタキへの立ち入り	15.4	15.8	22.4
モノレールの混雑	10.9	11.6	7.7
その他	2.1	1.9	4.2
無回答	1.7	0.6	1.4

図表 3-2-6 具体的に観光客に関して困っていること（自由記述）

マナー違反	<ul style="list-style-type: none"> ・歩きながらスマホ見てる人！！危ないです！ ・トイレの利用の仕方が悪い ・飲食店での声の大きさ、うるさい。 ・話し声がとにかく大きい。 	北部
	<ul style="list-style-type: none"> ・イオンの店舗で数人で中国語での大きい声でわかついた！ ・特に中国からの観光客のマナーが悪く、とても不愉快な気持ちになる。レジに並ばず、買物をお金の支払う前に飲食する。中国からの観光客を制限して欲しい。 ・トイレで並んでいても、割り込んでくる。大声で話す。ゴミをすぐに道にする。トイレのマナーがなっていない。汚くする。買い物のマナーが悪い。 ・場所かまわず食事をしている（マナーの悪さが目立ちます）。大声で会話しながら歩く（特にアジア系の人に多い様に思います）。 ・観光施設内に落書きなどする観光客もいる。 ・入場、見学等、並んで待つ、入場する事が出来ない。 ・団体行動により、とぎれる事のない、観光施設の混雑等 ・スーパーで食品を（サシミ、肉など）手に取りなげ返す、スーパーのサシミコーナーのワザビ、しょう油を、全部もっていくのを見た。中国人 ・中国人のマナーの悪さが目立つので沖縄に来てほしくない 	中部
	<ul style="list-style-type: none"> ・公共の施設のトイレが外国人が入った後は、とても汚い。 ・歩道の真ん中でかたまって、止まって立ち話している。 ・店内、モノレールの中で大声でしゃべったり店内で飲食しながら歩きマナーが悪いと思います。（台湾、韓国人）。 ・とにかくルールを守ってほしい。沖縄の人に迷惑をかけないようにしてほしい（国際通り等）。 ・歩きタバコ、集団でのたまり ・並んでいると割り込む。 ・主に中国人 ・国際通り、コンビニのまわり、インターチェンジ、ゴミのポイ捨て多し。 ・マナー違反。飲食店でのポイ捨て。大声。 ・サンエー（メインプレス店）にて、商品など見る時、割り込んで入ってきたり喫煙所ではない所でタバコを吸っているのを見かける。 ・ショップや、買物中のマナーが悪い。 ・お店の従業員に対して文句（沖縄のこと）を言う人がいる。 ・並ばない。 	那覇市
	<ul style="list-style-type: none"> ・中国人のマナーの悪さ 	宮古
交通ルール・マナー	<ul style="list-style-type: none"> ・騒がしい ・うるさい ・マナーが悪い。 ・自宅に侵入してくる。 	八重山
	<ul style="list-style-type: none"> ・高速の追い越し車線をずっと走っている。 ・外国人の逆走運転 	北部
	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタカーの割り込み。 ・運転の仕方。（とても危険な運転が多い） ・運転のマナー 	中部
	<ul style="list-style-type: none"> ・交通ルールをわかっていないため、逆送や、赤信号にもかかわらず走行など（居住国と違うため）いつ事故が起こってもおかしくない状況です。 ・慣れている土地ではないので進行方向がすぐに分からず、後続で運転していると困ることがよくある ・運転手のマナーが悪い。 ・信号無視 	那覇市
	<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路のマナー ・急な、迷惑な、車線変更や路端への停車 ・高速道路の通行、右側をずっと走っている レンタカーが多い。 ・レンタカーで、高速道路等マナー違反多い（追越車線を走行していたり…）。 ・ヤンバルクイナやイリオモテヤマネコなどにみられる交通事故 ・車をとばしすぎ。ここは東京ではないので、なおさら思ます。 ・駐車場の違法駐車、車の運動のマナー 	南部
経済	<ul style="list-style-type: none"> ・観光客が多くなり、沖縄定番のお菓子や食べ物類が値段が上がっている。 	北部
	<ul style="list-style-type: none"> ・物価が観光客対応になり値上がりしている。（県民の買物客には声も掛けられない） 	中部
	<ul style="list-style-type: none"> ・タクシー代が高い。 ・観光客が増えて、有料化になってる所が多い（駐車場等） 	那覇市
	<ul style="list-style-type: none"> ・観光収入が地元還元されない。島外の業者に主にもっていかれる。 	八重山
多言語対応	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語対応 	北部
	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉がわからない 	中部
	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉がわからず困る。 	南部
違法業者	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス業者が違法でやっている方が多くて立入り検査した方が多い 	北部
	<ul style="list-style-type: none"> ・違法民泊等 	中部
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに観光地があるので楽しくない。 	中部
	<ul style="list-style-type: none"> ・道案内をしようとした時に、外国人観光客が使用していた地図を見ると、位置が正しくない地図で、案内に困ることがあった。 ・結構見受けます。 ・主に中国人。 	那覇市
	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄は全体的に「ユルい」というイメージのためか、沖縄住民を軽視した物言いになることがあり、これが地元とナイチャーの対立になる。 	八重山

4. 観光施策の重要度・達成度

本項では、沖縄観光の施策に関する 42 個の項目について、それぞれ重要と考える程度及び達成できていると考える程度を調査し、県民にとっての沖縄観光施策の重要度と達成度を整理した。

(1) 沖縄観光の各施策に対する重要度

Q 次に挙げる事項は、沖縄の観光にとって重要だと思いますか。

- “非常に重要である”と回答した割合の上位 5 項目は、「観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること (60.2%)」、「県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること (53.8%)」、「空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること (49.2%)」、「観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること (48.7%)」、「高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること (47.8%)」であった。
- 地域別にみると、“南部”以外は「交通事故等のトラブル防止の対策」をもっとも重視している。各地域の上位 3 項目は以下の通り。

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
1 位	・交通事故等のトラブル防止			・多言語対応	・交通事故等のトラブル防止	
2 位	・円滑な移動		・誰もが快適に過ごせる環境整備	・Wi-Fi 環境の整備	・誰もが快適に過ごせる環境整備	・風評被害への対策方針の整備
3 位	・沖縄文化の保全・継承・活用	・交通利便性の向上	・円滑な移動	・交通事故等のトラブル防止	・円滑な移動	・環境と共生した持続可能な観光

- 性別にみても、男女間で重要視する項目は大きくは変わらない。
- 年代別にみると、“10 代”と“70 代”以外は「交通事故等のトラブル防止の対策」をもっとも重視している。各年代の上位 3 項目は以下の通り。

	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代
1 位	・多言語対応	・交通事故等のトラブル防止					・誰もが快適に過ごせる環境整備
2 位	・誰もが快適に過ごせる環境整備	・円滑な移動			・多言語対応	・円滑な移動	・交通利便性の向上
3 位	・Wi-Fi 環境の整備	・環境と共生した持続可能な観光	・交通利便性の向上	・誰もが快適に過ごせる環境整備	・円滑な移動	・誰もが快適に過ごせる環境整備	・交通事故等のトラブル防止

- 観光客との接点別にみると、上位 2 項目は「交通事故等のトラブル防止の対策」「円滑な移動」と共通している。3 位となった項目は、“日常業務の一環”は「環境と共生した持続可能な観光」、「日常生活のコミュニケーション」は「交通利便性の向上」、「機会なし」は「多言語対応」となった。

図表 4-1-1 沖縄観光の各施策に対する重要度

	(%)							重要度 得点
	非常に 重要	ある程度 重要	どちらとも いえない	あまり 重要で ない	全く 重要で ない	無回答		
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	60.2	26.6	11.3	1.0	0.5	0.3	4.45	
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	53.8	33.1	11.0	1.2	0.5	0.4	4.39	
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	49.2	34.8	14.4	1.1	0.1	0.3	4.32	
17 観光情報を手でできる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	48.7	36.5	12.6	1.3	0.2	0.7	4.33	
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	47.8	37.1	13.6	0.8	0.2	0.4	4.32	
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	46.1	33.4	17.7	1.9	0.5	0.4	4.23	
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	44.6	39.8	13.9	0.7	0.3	0.6	4.28	
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	44.3	41.0	12.7	1.5	0.2	0.4	4.28	
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	44.1	38.4	15.8	1.0	0.0	0.7	4.26	
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	43.7	41.7	12.6	1.4	0.1	0.5	4.28	
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	39.5	44.0	13.5	2.2	0.4	0.4	4.21	
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	39.1	40.5	16.6	3.0	0.4	0.3	4.15	
4 県内各地域の特色を踏まえた沖縄らしい風景やまちなみが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	38.7	39.0	19.8	1.6	0.4	0.5	4.15	
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	37.9	41.8	17.9	1.6	0.4	0.4	4.16	
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	37.4	41.9	17.5	2.7	0.2	0.2	4.14	
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	37.2	36.8	21.8	2.8	0.7	0.7	4.08	
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、ウエルネス、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	37.0	42.6	17.5	2.0	0.4	0.5	4.14	
19 県内離島への観光が促進されていること	36.6	41.9	19.3	1.2	0.6	0.4	4.13	
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	36.2	42.3	18.9	2.0	0.3	0.4	4.12	
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	35.9	41.4	21.4	0.6	0.3	0.5	4.13	
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にこめられていること	35.6	43.1	18.9	2.0	0.2	0.3	4.12	
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	34.8	41.6	21.4	1.4	0.2	0.5	4.10	
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	34.7	43.9	19.0	1.8	0.3	0.4	4.11	
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	34.2	42.2	21.3	1.5	0.3	0.5	4.09	
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	33.3	38.5	24.9	2.2	0.6	0.5	4.02	
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	33.1	39.0	21.4	4.9	1.0	0.6	3.99	
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	32.9	42.0	21.9	2.2	0.5	0.5	4.05	
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	31.9	43.1	21.8	2.6	0.4	0.2	4.04	
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	31.3	40.8	23.5	3.6	0.5	0.3	3.99	
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	31.1	39.2	23.6	4.2	1.3	0.5	3.95	
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	31.0	39.0	24.4	4.4	0.9	0.4	3.95	
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	30.9	45.2	21.3	1.5	0.4	0.7	4.05	
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」を国内外に発信すること	30.7	40.3	24.9	2.9	0.8	0.4	3.97	
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	30.5	40.7	24.4	3.4	0.8	0.2	3.97	
10 各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	29.8	40.6	25.6	2.8	0.1	1.0	3.98	
9 MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	29.7	42.6	24.9	2.3	0.3	0.3	3.99	
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	29.7	39.2	26.2	3.4	0.8	0.6	3.94	
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	28.0	45.9	21.3	3.7	0.6	0.4	3.97	
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	26.2	44.8	26.3	1.7	0.6	0.2	3.94	
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	26.1	43.2	26.9	3.0	0.3	0.4	3.92	
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	25.9	36.7	28.8	7.2	1.0	0.4	3.80	
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	25.1	40.3	31.2	2.5	0.6	0.3	3.87	

※重要度得点：「非常に重要である」＝5点、「ある程度重要である」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり重要でない」＝2点、「全く重要でない」＝1点とした場合の平均得点。

図表 4-1-2 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（地域別）

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	54.1	63.3	55.2	42.0	67.9	59.3
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	50.8	55.7	51.8	39.9	59.8	45.1
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	28.7	52.1	44.5	39.4	51.8	41.6
17 観光情報入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	44.3	49.9	45.4	46.8	58.9	40.7
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	34.4	48.2	52.7	31.9	66.1	44.2
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	38.5	49.0	43.0	24.5	54.5	48.7
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	31.1	46.6	43.0	30.3	56.3	42.5
5 温暖な気候を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	35.2	46.9	39.3	35.1	42.9	30.1
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	45.1	45.7	38.4	39.4	58.0	46.0
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	45.9	45.2	40.2	34.6	57.1	40.7
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	29.5	39.7	41.8	34.0	42.0	41.6
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	34.4	41.1	37.2	28.7	32.1	20.4
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景やまちなみが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	41.0	40.8	31.4	31.4	53.6	46.0
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	27.0	39.6	36.3	25.5	54.5	32.7
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	23.0	38.8	35.4	34.6	45.5	28.3
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	24.6	37.7	33.8	44.1	54.5	37.2
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、ウェルネス、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	30.3	38.6	34.1	31.9	32.1	31.0
19 県内離島への観光が促進されていること	19.7	37.2	39.0	28.2	45.5	38.9
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	29.5	38.5	30.8	31.9	31.3	23.9
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	16.4	38.6	31.4	26.6	40.2	31.9
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	23.0	36.1	38.1	25.5	48.2	31.0
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	27.0	35.8	34.5	28.7	44.6	22.1
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	27.0	36.1	33.8	26.6	35.7	23.0
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	19.7	35.8	35.4	20.2	25.0	31.0
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	23.8	35.3	29.0	28.7	33.0	27.4
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	23.0	35.0	29.3	29.8	38.4	15.0
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	17.2	33.8	37.2	18.6	27.7	31.0
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	19.7	32.5	36.9	17.0	28.6	22.1
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	29.5	32.7	28.4	26.1	38.4	23.0
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	22.1	32.8	28.7	25.0	34.8	13.3
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	22.1	32.7	27.1	27.1	29.5	31.9
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	16.4	33.4	27.4	18.6	38.4	23.9
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」を国内外に発信すること	17.2	31.9	32.6	19.7	29.5	13.3
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、 베트남等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	14.8	32.7	26.8	26.1	29.5	14.2
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	20.5	32.0	25.0	21.3	43.8	22.1
9 MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	23.0	31.4	26.8	24.5	26.8	22.1
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	18.9	31.4	25.0	30.9	39.3	14.2
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	21.3	28.7	29.0	18.1	41.1	26.5
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	15.6	27.0	28.0	17.6	24.1	20.4
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	15.6	27.6	25.3	19.1	19.6	14.2
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	18.0	27.6	22.6	19.1	32.1	17.7
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	13.9	26.2	25.9	16.5	24.1	13.3

図表 4-1-3 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（性別）

		(%)	
		男性	女性
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	57.6	58.7
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	52.3	51.7
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	47.5	44.8
17	観光情報を手でできる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	47.7	48.4
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	46.9	47.2
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	42.5	45.7
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	42.0	43.9
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	43.7	38.8
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	46.0	42.4
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	44.1	42.7
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	39.2	38.7
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	36.1	35.7
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景やまちなみが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	38.8	39.1
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	36.5	36.8
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	37.7	34.1
18	観光客が無料W i - F i に接続出来る環境があること	39.5	36.1
8	ウェディング、ショッピング、タイピング、ウェルネス、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	35.7	34.4
19	県内離島への観光が促進されていること	38.4	33.2
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	33.2	34.0
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	32.5	34.1
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	34.9	34.4
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	34.8	32.3
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	31.9	33.5
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	32.8	29.7
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	33.7	29.1
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	35.3	26.4
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	33.6	27.6
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	31.3	27.5
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	32.5	28.1
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	30.4	27.1
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	30.3	28.9
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	29.6	27.5
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	29.3	26.1
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、 베트남等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	28.5	26.4
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	28.8	27.9
9	M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	29.2	26.4
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	31.2	25.2
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	28.8	26.4
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	24.8	24.0
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	24.4	22.5
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	26.1	22.4
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	25.2	20.4

図表 4-1-4 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（年代別）

		(%)						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	47.5	60.0	63.4	60.5	63.1	51.5	45.6
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	50.0	52.4	55.9	57.8	49.0	46.5	44.1
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	47.5	45.7	53.8	46.8	40.6	41.9	45.6
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	51.6	48.6	51.4	45.8	50.2	44.2	42.6
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	50.8	48.1	45.9	47.5	46.2	45.4	50.0
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	46.7	43.3	44.5	47.5	45.8	38.1	42.6
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	44.3	40.5	45.2	43.9	43.8	40.0	42.6
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	40.2	42.4	42.8	42.9	36.9	40.8	44.1
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	40.2	49.5	51.0	46.2	45.0	37.3	27.9
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	43.4	46.2	45.9	45.5	36.5	44.2	36.8
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	37.7	36.7	41.7	38.2	41.0	36.5	41.2
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	30.3	33.8	36.6	37.5	33.7	38.8	39.7
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景やまちなみが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	40.2	41.4	48.6	38.9	35.3	33.8	20.6
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	40.2	37.6	40.3	35.5	34.5	34.2	33.8
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	38.5	38.1	37.9	31.6	38.2	33.1	38.2
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	50.8	41.9	42.1	39.5	33.7	28.5	26.5
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、ウェルネス、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	41.8	39.5	36.6	30.2	34.9	34.2	27.9
19	県内離島への観光が促進されていること	31.1	39.0	34.5	33.9	37.8	36.2	39.7
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	39.3	35.7	32.4	31.9	31.7	34.2	33.8
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	38.5	32.9	35.2	34.6	30.1	31.9	29.4
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	36.1	33.8	35.5	30.6	34.9	36.2	42.6
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	32.0	31.9	35.2	32.9	34.1	31.5	42.6
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	29.5	31.0	31.7	33.9	35.3	31.2	38.2
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	25.4	31.9	31.7	34.6	30.9	29.2	32.4
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	32.8	42.4	35.5	33.6	26.9	23.1	16.2
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	38.5	27.6	31.7	30.9	30.1	30.0	29.4
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	29.5	29.0	34.1	30.2	33.7	28.1	22.1
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	20.5	27.1	33.1	28.2	30.1	30.0	36.8
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	36.9	33.3	33.1	30.9	27.7	24.6	26.5
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	31.1	29.0	27.9	26.6	29.3	30.4	27.9
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	33.6	28.6	32.1	28.2	30.5	28.1	23.5
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	24.6	30.5	30.3	29.9	27.3	25.8	30.9
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」を国内外に発信すること	30.3	27.1	27.6	22.6	32.5	29.2	25.0
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	29.5	24.8	27.6	26.9	26.5	31.5	22.1
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	31.1	34.8	27.2	27.9	23.7	27.3	30.9
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	29.5	33.3	25.5	26.9	25.7	28.5	26.5
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	30.3	28.1	33.8	28.9	25.7	24.6	20.6
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	34.4	29.0	26.6	25.6	28.1	26.9	25.0
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	28.7	24.3	26.2	25.9	21.7	24.2	13.2
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	27.0	23.8	23.1	23.3	24.5	21.9	20.6
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	34.4	24.8	25.5	20.3	24.5	25.0	13.2
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	23.0	22.9	26.6	20.9	25.7	20.4	13.2

図表 4-1-5 沖縄観光の各施策に対する“非常に重要”率（観光客と接する機会別）

		(%)		
		日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	65.5	62.1	54.3
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	56.7	56.7	48.6
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	48.7	52.8	42.6
17	観光情報入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	52.9	50.8	45.3
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	52.5	50.3	44.0
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	49.4	46.9	41.4
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	53.6	47.2	37.9
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	43.7	45.2	38.9
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	54.4	49.4	39.1
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	48.3	48.6	39.7
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	47.9	41.9	35.2
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	28.4	43.8	34.9
4	県内各地域の特性を踏まえ沖縄らしい風景やまちなみが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	47.9	44.9	33.7
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	44.4	41.9	32.3
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	39.1	42.1	32.6
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	45.2	43.0	33.5
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、ウェルネス、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	36.4	41.9	31.9
19	県内離島への観光が促進されていること	41.4	39.0	32.8
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	31.8	39.0	31.7
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	38.7	39.3	29.3
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	41.4	41.3	29.9
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	37.9	38.5	30.5
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	36.4	39.6	28.8
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	32.6	38.8	28.0
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	36.0	34.6	28.6
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更なる増加すること	31.0	36.5	28.6
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	31.8	38.2	27.0
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	28.4	35.1	27.5
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	29.9	34.8	28.6
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	27.6	35.1	26.5
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	31.0	34.8	27.1
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	34.1	32.3	25.4
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	26.4	34.3	25.6
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、バトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	27.2	32.9	25.4
10	各地域において、その地域の特徴を活かした観光誘客活動が行われていること	31.8	33.1	25.4
9	MICEを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	28.0	37.1	24.2
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	30.7	34.8	24.9
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	33.7	34.6	22.9
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	25.3	32.9	20.8
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	24.9	31.2	19.9
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	27.6	32.6	19.9
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	22.2	30.3	19.9

(2) 沖縄観光の各施策に対する達成度

Q それぞれの事項について、今の沖縄の観光は、達成できていると思いますか。

- “非常に達成できている”と“ある程度達成できている”をあわせた達成率の上位5項目は、「温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること（72.1%）」、「「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄に訪れていること（55.7%）」、「文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること（55.6%）」、「ウェディング、ショッピング、ダイビング、ウェルネス、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること（53.7%）」、「国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること（49.1%）」であった。
- 一方、達成率の下位5項目は、「観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること（13.3%）」、「地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること（13.7%）」、「次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること（14.0%）」、「海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと（15.2%）」、「沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること（15.5%）」であった。
- 地域別にみると、全地域で「各種キャンプ・大会の開催」の達成率もっとも高い。各地域の上位・下位3項目は以下の通り。

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山	
上位	1	・各種キャンプ・大会の開催					
	2	・沖縄文化の保全・継承・活用	・空手の発信・愛好家の訪問	・教育旅行による訪問	・多種多様な目的での訪問		
	3	・空手の発信・愛好家の訪問	・多種多様な目的での訪問		・東アジアの誘客拡大 ・クルーズ客増加	・離島観光の促進	
下位	1	・「Be.Okinawa」の発信	・協働の場づくり	・交通事故等のトラブル防止対策 ・欧米等のリゾート需要の取り込み ・風評被害対策の整備	・風評被害対策の整備	・協働の場づくり	・「Be.Okinawa」の発信
	2	・海外メディア等と連携した誘客	・児童生徒への観光産業の理解促進		・データ収集・分析	・外国人の観光産業への従事	・児童生徒への観光産業の理解促進
	3	・欧米等のリゾート需要の取り込み ・客観指標に基づいた政策決定 ・児童生徒への観光産業の理解促進 ・風評被害対策の整備 ・協働の場づくり	・風評被害対策の整備		・観光従事者の対応	・交通事故等のトラブル防止対策 ・欧米等のリゾート需要の取り込み	・閑散期の誘客 ・データ収集・分析

- 性別や年代別にみても、認識している達成率は大きくは変わらない。

図表 4-2-1 沖縄観光の各施策に対する達成度

								達成度	
	非常に達成できている	ある程度達成できている	どちらともいえない	あまり達成できていない	全く達成できていない	無回答	達成率 (非常に+ある程度)	達成度 得点	
5	温暖な気候を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	19.3	52.9	21.5	4.9	0.6	0.8	72.1	3.80
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	10.9	44.8	34.9	6.3	1.9	1.2	55.7	3.49
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	6.2	49.4	33.6	8.5	1.1	1.1	55.6	3.49
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、ウエルネス、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	11.3	42.4	39.9	4.2	1.2	1.1	53.7	3.59
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	8.1	41.0	42.0	7.4	0.6	0.9	49.1	3.48
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	9.9	36.7	37.6	11.5	3.2	0.9	46.6	3.36
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	3.6	36.2	43.3	13.9	1.9	1.2	39.8	3.23
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	4.8	34.4	43.6	12.9	3.3	0.9	39.3	3.26
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	4.3	32.5	44.3	14.5	3.5	0.9	36.8	3.25
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景やまちなみが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	4.0	32.1	45.3	14.6	2.9	1.2	36.1	3.18
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	4.3	30.9	53.4	8.4	2.2	0.8	35.2	3.29
19	県内離島への観光が促進されていること	5.2	27.9	53.1	11.3	1.8	0.7	33.1	3.19
20	宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	3.3	25.8	55.1	12.7	2.0	1.1	29.1	3.12
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	2.9	26.1	48.3	18.2	3.8	0.8	29.0	3.07
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	2.8	26.0	55.6	12.1	2.8	0.7	28.8	3.15
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	3.9	24.2	49.9	15.9	5.1	1.0	28.1	3.09
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	2.4	24.1	48.4	19.8	4.0	1.4	26.5	3.05
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	2.4	23.5	59.9	11.3	2.2	0.7	25.9	3.11
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	2.7	21.6	43.9	24.2	6.6	1.1	24.3	2.88
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	2.3	21.7	53.8	17.5	3.9	0.7	24.1	3.00
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	3.4	19.9	36.3	30.0	9.4	1.0	23.3	2.77
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	2.3	20.8	52.9	18.5	4.5	0.9	23.1	3.03
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	3.1	18.8	49.1	19.6	8.5	0.9	21.9	2.88
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	1.5	19.5	50.1	23.6	4.7	0.5	21.0	2.91
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	1.8	17.8	56.0	19.2	4.5	0.8	19.5	2.96
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	1.5	18.0	55.7	19.0	4.8	1.0	19.5	2.93
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	1.5	17.9	51.4	21.6	6.9	0.7	19.4	2.86
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	1.1	17.4	59.9	17.2	3.5	0.8	18.6	2.95
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	2.0	16.4	56.6	21.3	2.9	0.8	18.4	2.89
16	観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	2.4	15.8	37.3	30.7	13.1	0.8	18.2	2.58
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	1.8	15.7	54.3	20.3	7.0	0.8	17.5	2.85
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	1.6	15.5	48.1	25.7	8.5	0.7	17.1	2.75
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	1.3	15.7	57.1	21.0	4.3	0.6	16.9	2.89
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	1.4	15.1	62.4	16.3	4.2	0.6	16.5	2.94
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	1.6	14.6	54.9	24.5	3.8	0.7	16.2	2.87
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	1.2	14.7	62.3	14.3	6.8	0.6	15.9	2.92
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	1.0	14.8	53.4	21.3	8.8	0.7	15.8	2.82
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	0.8	14.7	58.1	20.2	5.5	0.8	15.5	2.87
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	1.6	13.7	60.7	18.1	5.3	0.7	15.2	2.91
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	1.1	12.9	56.1	21.0	8.2	0.7	14.0	2.80
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	2.1	11.6	50.9	25.3	9.4	0.7	13.7	2.70
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	1.0	12.4	62.0	17.8	6.3	0.6	13.3	2.87

※達成度得点：「非常に達成できている」＝5点、「ある程度達成できている」＝4点、「どちらともいえない」＝3点、「あまり達成できていない」＝2点、「全く達成できていない」＝1点とした場合の平均得点。

図表 4-2-2 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（地域別）

	(%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
5 温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	73.8	75.5	62.5	67.0	67.9	49.6
3 「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	63.1	57.8	56.1	39.4	24.1	23.0
2 文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	68.9	57.9	48.8	50.0	46.4	33.6
8 ウェディング、ショッピング、ダイビング、ウェルネス、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	62.3	53.1	55.5	51.1	63.4	48.7
7 国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	62.3	49.9	44.5	53.2	37.5	30.1
6 サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	52.5	48.2	41.2	47.9	44.6	22.1
1 沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	59.8	42.2	31.1	35.1	27.7	21.2
11 空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	46.7	39.2	38.7	38.8	42.9	31.0
12 クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	42.6	35.3	41.5	34.6	61.6	31.0
4 県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景やまちなみが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	58.2	38.1	27.7	31.9	29.5	21.2
34 直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	25.4	35.3	33.5	39.9	61.6	24.8
19 県内離島への観光が促進されていること	20.5	34.7	33.2	21.3	21.4	35.4
20 宿泊施設について客室単価の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	26.2	31.1	26.8	19.1	14.3	22.1
27 観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	23.8	29.2	29.3	26.6	36.6	26.5
9 M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	42.6	28.1	31.7	27.1	17.0	15.0
14 決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	38.5	27.8	29.3	26.1	23.2	23.9
10 各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	37.7	25.7	28.0	25.5	31.3	20.4
35 一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	18.0	27.0	20.7	35.1	20.5	13.3
17 観光情報を手でできる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	22.1	24.0	25.6	26.1	17.0	18.6
28 外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	17.2	25.6	22.6	16.5	15.2	18.6
15 県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	23.0	25.4	14.6	22.9	39.3	18.6
13 クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	39.3	21.5	24.7	28.7	31.3	23.0
18 観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	17.2	21.7	23.2	25.0	16.1	15.9
24 県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	24.6	20.4	24.7	17.6	15.2	14.2
32 国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	25.4	19.2	16.5	33.0	17.9	9.7
33 国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	20.5	19.5	16.8	32.4	7.1	8.0
30 年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	26.2	18.1	23.5	23.4	9.8	7.1
29 観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	23.0	19.2	16.5	18.6	16.1	8.0
21 外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	17.2	18.1	20.7	18.6	6.3	12.4
16 観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	19.7	20.4	11.9	15.4	6.3	9.7
22 観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	23.0	17.9	18.0	11.7	7.1	15.0
25 高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	18.9	17.7	15.2	14.9	18.8	9.7
36 旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	15.6	17.9	11.9	25.0	6.3	9.7
31 沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	20.5	16.6	18.3	10.6	7.1	7.1
23 今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	23.0	15.4	18.9	16.0	10.7	12.4
42 入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	15.6	16.2	16.2	14.9	8.9	10.6
40 観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	18.9	16.3	14.0	14.9	8.0	14.2
37 沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	13.1	16.2	14.6	13.8	8.9	6.2
38 海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロゴ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	14.8	14.9	16.8	16.0	8.9	13.3
41 次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	15.6	14.3	13.4	14.4	9.8	6.2
26 地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	15.6	14.6	11.9	9.6	8.0	8.0
39 観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	15.6	12.6	16.2	14.9	5.4	8.8

図表 4-2-3 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（性別）

		(%)	
		男性	女性
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	71.1	66.8
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	49.2	51.6
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	49.9	56.4
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、ウェルネス、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	52.1	56.9
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	46.5	48.9
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	47.1	42.4
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	37.3	38.0
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	39.1	39.6
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	40.0	37.6
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景やまちなみが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	33.5	36.1
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	34.0	37.7
19	県内離島への観光が促進されていること	29.3	31.9
20	宿泊施設について客室準備の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	25.1	27.6
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	25.3	32.3
9	M I C E を国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	28.0	28.3
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	27.5	28.8
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	26.9	27.5
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	24.9	23.9
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	20.4	26.7
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	20.0	23.6
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	23.5	22.7
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	25.5	25.3
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	18.4	24.0
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	19.6	21.3
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	20.0	20.0
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	18.1	19.5
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	17.9	20.4
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	18.1	17.3
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	14.9	19.7
16	観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	15.6	16.4
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	14.5	18.5
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	16.3	16.5
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	15.3	16.3
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	14.4	15.9
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	13.9	18.7
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	16.1	13.9
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	14.8	15.3
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	13.3	14.7
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロケ作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	15.3	14.4
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	13.2	13.3
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	11.2	13.7
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	13.5	12.7

図表 4-2-4 沖縄観光の各施策に対する“達成（非常に＋ある程度）”率（年代別）

		(%)						
		10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	74.6	61.4	69.3	68.8	71.5	68.8	72.1
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	44.3	47.6	51.7	50.5	51.0	52.7	52.9
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	61.5	51.0	53.1	51.5	52.2	55.0	48.5
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、ウェルネス、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	61.5	56.7	59.0	51.2	55.0	50.4	45.6
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	57.4	46.2	50.7	43.5	46.6	47.3	47.1
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	59.8	45.7	45.5	45.5	40.6	38.8	45.6
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	37.7	34.8	39.0	35.9	39.0	39.6	36.8
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	54.1	36.7	36.2	35.5	38.2	43.5	39.7
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	45.1	39.5	41.0	36.5	36.5	37.7	38.2
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景やまちなみが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	42.6	34.8	36.6	30.6	36.1	32.3	36.8
34	直行便が就航している東アジア地域（台湾、韓国、中国本土、香港）の誘客を拡大すること	50.8	39.5	39.7	32.2	32.9	28.5	36.8
19	県内離島への観光が促進されていること	36.1	27.1	28.3	31.9	30.9	30.4	35.3
20	宿泊施設について客室準備の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	38.5	22.9	22.8	29.6	23.7	26.2	26.5
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	50.0	34.3	31.0	24.6	21.7	24.6	25.0
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	41.8	30.5	27.9	25.2	25.7	26.9	23.5
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること（クレジットカード決済、モバイル決済等）	46.7	27.6	32.4	26.6	25.7	20.8	22.1
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	45.9	30.5	27.6	23.6	24.1	23.1	25.0
35	一部直行便が就航した東南アジア地域（タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等）からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	37.7	25.2	25.9	22.3	25.7	16.9	25.0
17	観光情報を入手できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	45.9	29.0	22.4	20.6	18.9	18.8	19.1
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	46.7	26.2	20.3	19.6	15.7	18.1	16.2
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	36.9	21.0	19.7	21.3	19.3	25.0	33.8
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	32.8	25.2	26.9	21.3	26.1	23.8	27.9
18	観光客が無料Wi-Fiに接続出来る環境があること	43.4	21.4	23.4	17.9	16.9	16.9	17.6
24	県民がホスピタリティ（人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む）にあふれていること	35.2	24.3	17.6	16.3	19.3	18.5	25.0
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	30.3	19.5	21.7	16.6	20.1	16.9	22.1
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	29.5	15.2	22.1	18.3	20.1	13.1	16.2
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	28.7	16.7	21.0	20.9	17.3	16.2	11.8
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	29.5	21.4	15.9	15.6	16.1	15.0	19.1
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	29.5	18.1	16.2	16.6	14.5	14.6	22.1
16	観光客が、不慣れた道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	31.1	18.1	11.0	13.6	12.9	16.9	22.1
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	29.5	17.6	19.0	16.6	13.3	10.4	14.7
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	40.2	18.6	13.4	12.3	13.7	13.1	20.6
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	23.8	19.0	16.9	12.6	17.7	10.4	14.7
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	27.0	15.2	17.2	11.6	12.9	13.1	16.2
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	32.8	18.1	15.9	12.6	13.7	13.8	17.6
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	32.0	14.8	13.1	13.3	15.3	12.3	10.3
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	31.1	15.7	15.2	11.3	14.5	12.3	13.2
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be.Okinawa」を国内外に発信すること	29.5	11.9	16.6	9.6	14.5	11.2	10.3
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、ロク作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	26.2	18.1	19.0	9.3	14.9	9.2	13.2
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	30.3	15.2	13.1	7.6	13.7	10.8	10.3
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報起因とする風評被害への対応方針が整っていること	32.0	13.3	12.1	9.0	10.0	8.8	14.7
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	27.9	16.7	13.4	10.3	12.4	7.7	8.8

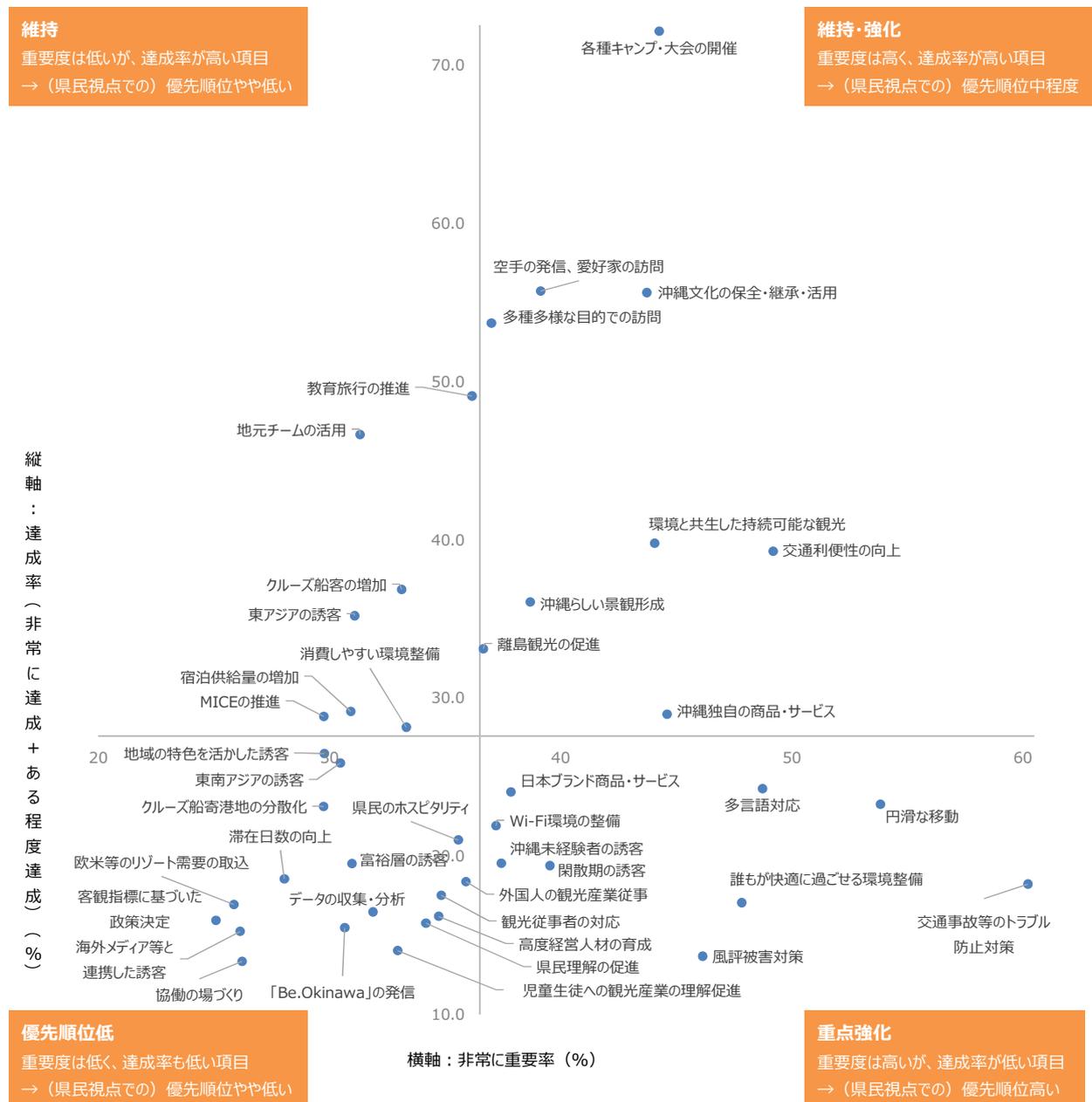
図表 4-2-5 沖縄観光の各施策に対する“達成(非常に+ある程度)”率(観光客と接する機会別)

		(%)		
		日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
5	温暖な気候等を活かして、野球やサッカーなど各種キャンプ・大会が盛んに行われていること	65.9	72.8	68.2
3	「空手発祥の地・沖縄」を世界に発信し、世界中の空手愛好家が沖縄を訪れていること	39.1	55.9	51.4
2	文化・芸能・世界遺産などの魅力ある沖縄文化が、保全・継承され、観光資源として広く活用されていること	48.7	55.1	53.4
8	ウェディング、ショッピング、ダイビング、ウェルネス、卒業記念等、多種多様な目的も兼ねながら観光客が沖縄を訪れていること	60.5	58.1	51.3
7	国内外の学生、生徒、教育関係者などが教育旅行で沖縄を訪れていること	42.9	49.2	48.8
6	サッカーやバスケットボールなどの地元チームを活用し、県民と観光客が一体となって楽しんでいること	37.5	49.2	45.1
1	沖縄の豊かな自然環境に配慮し、環境と共生した持続可能な観光が推進されていること	32.2	39.6	38.3
11	空港機能が強化されることにより、国内外の航空路線の拡充が行われ、県民や観光客の交通の便が良くなること	40.6	39.6	38.7
12	クルーズ船の寄港に対応する港湾施設の機能が強化され、クルーズ船による観光客が更に増えること	42.9	44.4	35.4
4	県内各地域の特性を踏まえた沖縄らしい風景やまちなみが適切に保全され、良好な景観が形成されていること	26.1	40.2	35.1
34	直行便が就航している東アジア地域(台湾、韓国、中国本土、香港)の誘客を拡大すること	39.5	39.3	33.4
19	県内離島への観光が促進されていること	27.6	32.0	31.0
20	宿泊施設について客室準備の向上を図りながら、沖縄全体の宿泊供給量が増加していくこと	21.5	28.4	26.7
27	観光客の県内消費額を向上するため、沖縄独自の魅力を活かした商品・サービスが増えること	33.0	31.2	26.6
9	M I C Eを国内外から呼び込み、多くの方が沖縄を訪れていること	26.1	28.7	28.6
14	決済手段が多様で、観光客が消費しやすい環境が整備されていること(クレジットカード決済、モバイル決済等)	27.2	30.9	27.2
10	各地域において、その地域の特色を活かした観光誘客活動が行われていること	28.7	30.9	25.0
35	一部直行便が就航した東南アジア地域(タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム等)からの航空路線の安定化と拡充に積極的に取り組み、誘客を強化すること	21.5	27.0	24.3
17	観光情報を入力できる観光案内所や観光案内板等が多言語対応で整備されていること	21.8	27.0	22.5
28	外国人観光客の県内消費額を向上するため、日本ブランドの魅力を活かした商品・サービスが増えること	22.2	21.1	22.1
15	県民や観光客が渋滞に巻き込まれずに目的地まで円滑に移動できること	20.7	22.2	24.1
13	クルーズ船の寄港先が分散され、バス、タクシー等が一部地域に集中することによる負荷の低減や、観光地の分散化等が図られていること	27.2	25.3	25.0
18	観光客が無料W i - F iに接続出来る環境があること	23.0	24.4	19.3
24	県民がホスピタリティ(人への直接的なもてなしの精神のみならず、町の清掃活動等も含む)にあふれていること	16.1	19.4	22.3
32	国内の沖縄旅行未経験者の誘客に取り組むこと	19.2	21.1	19.9
33	国内外の富裕層の誘客に取り組むこと	15.7	20.5	19.1
30	年間を通して観光収入を安定的に確保するため、閑散期の誘客に取り組むこと	16.1	23.6	18.3
29	観光客の県内消費額を向上するため、滞在日数が向上するような取組を実施すること	13.4	18.8	18.5
21	外国人観光客への対応能力を向上するため、外国語に長けた人材や語学力など専門的な知識や技術を有する外国人が観光産業に従事していること	12.3	17.7	18.6
16	観光客が、不慣れな道路環境等の理由によるレンタカーでの交通事故発生等のトラブル防止の対策がとられていること	10.3	16.6	17.3
22	観光従事者一人ひとりが沖縄観光を代表する存在として、観光客に責任を持って対応できていること	14.6	19.4	16.0
25	高齢であることや障害の有無などにかかわらず、県民、観光客誰もが快適に過ごせる環境が整っていること	16.9	17.1	15.9
36	旅行市場が成熟し長期滞在が期待できる欧米等のリゾート需要を取り込むこと	11.5	18.3	16.0
31	沖縄観光の高度化、国際化等の変化に対応するため、これまで以上にきめ細かいデータの収集と分析について取り組むこと	15.3	17.1	14.3
23	今後の沖縄観光の持続的な振興を担う高度な経営人材を育成し、多様化・高度化する観光客のニーズに対応できていること	13.8	18.0	16.1
42	入域観光客数の目標設定など、客観指標に基づいた政策決定が行われていること	13.4	19.4	13.8
40	観光産業がもたらす県経済への波及効果などを県民にわかり易く発信し、観光の意義や効果について県民の理解を促進すること	13.0	18.5	14.3
37	沖縄の優位性を活かし、競合地との差別化を図るため、沖縄観光ブランド「Be. Okinawa」を国内外に発信すること	11.5	18.0	13.1
38	海外市場において効果的な誘客活動を行うため、海外メディアやウェブサイト・SNS等を通じた情報発信、口外作品を通じたプロモーション、海外事務所と連携した誘客活動等に取り組むこと	17.2	17.1	13.1
41	次世代を担う県内の児童生徒に対し観光産業の重要性について理解を深めること	12.3	13.5	13.6
26	地震、津波等大規模災害や根拠の乏しい情報を起因とする風評被害への対応方針が整っていること	10.3	13.8	12.7
39	観光関係者間、地域間、他分野間などの協働の場づくりを推進すること	11.5	15.7	12.5

(3) 観光施策の重要度と達成度からみた県民ニーズ

- 重要度と達成度の関係を検証することで、今後県民が望む施策の方向性を探ることができると考えられる。そこで、横軸に非常に重要率、縦軸に達成率（非常に達成している＋ある程度達成している）として、各施策をプロットした。右上に位置する「各種キャンプ・大会の開催」「沖縄文化の保全・継承・活用」「空手の発信、愛好家の訪問」「多種多様な目的での訪問」「環境と共生した持続可能な観光」「交通利便性の向上」等は、県民にとって重要度は高く、達成率も高い項目であることから、現状の沖縄観光の強みとして、引き続き、維持・強化していくことが必要である。
- 一方、「交通事故等のトラブル防止対策」「円滑な移動」「誰もが快適に過ごせる環境整備」「多言語対応」「風評被害対策」等は、県民にとって重要度が高いにもかかわらず達成率が低位に留まることから、県民ニーズが高い施策であると考えられる。

図表 4-3-1 沖縄観光の各施策の重要度と達成度の関係性



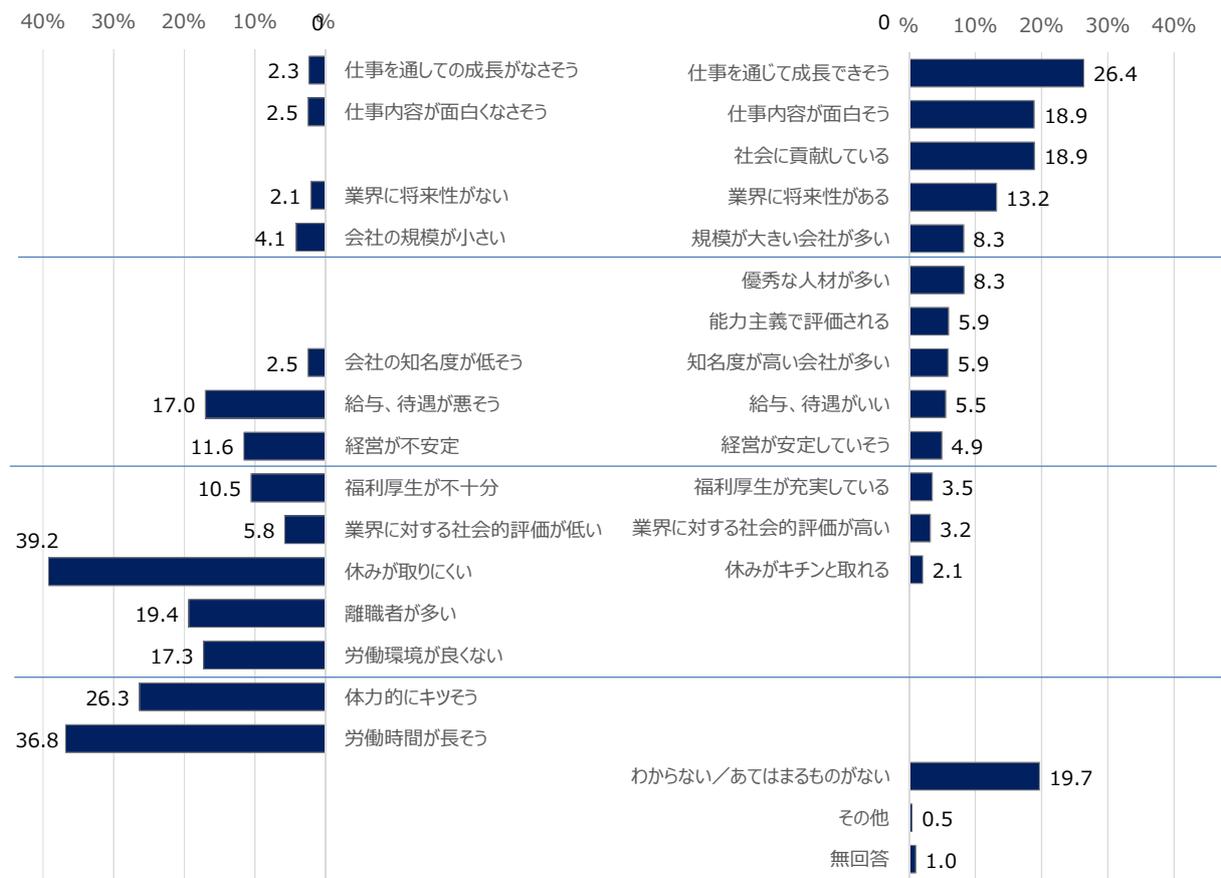
5. 観光産業に対する意識

(1) 観光産業のイメージ

Q 観光産業のイメージとしてあてはまるものをお選びください。

- 観光産業のイメージとしては、「休みが取りにくい」が 39.2%で最多となった。以下、「労働時間が長そう」36.8%、「仕事を通じて成長できそう」26.4%、「体力的にキツそう」26.3%と続き、上位にはマイナスイメージが多い。仕事内容にはプラスのイメージを抱いているものの、勤務形態や待遇面の不安があらわれる結果となった。
- 地域別でみると、“北部”“八重山”では「休みが取りにくい」と「労働時間が長そう」、「中部”“那覇”“南部”では「休みが取りにくい」、「宮古”では「仕事内容が面白そう」が最多となった。
- 性別にみると、女性のほうが「仕事を通じて成長できそう」と感じている一方で、「体力的にキツそう」というイメージも大きい。
- 年代別にみると、“20代以上”は「休みが取りにくい」「労働時間が長そう」が上位2つのイメージだが、“10代”「仕事内容が面白そう」「仕事を通じて成長できそう」「社会に貢献している」が上位となった。
- 観光客と接する機会別では、“日常業務の一環”及び“機会がない”は、「仕事内容が面白い」、「社会に貢献している」と回答した割合が低い。
- 「離職率が高い」と思っている人は、同時に「労働時間が長くて、休みが取りづらい」と回答する傾向が高いことから、「労働時間が長そう」「休みが取りにくい」「離職者が多い」はセットで捉えられている。しかしその一方で、これらの回答者の2~3割は「仕事内容が面白そう」「仕事を通じて成長できそう」「社会に貢献している」も同時に選択している。また、プラスイメージでは「仕事内容が面白そう」「仕事を通じて成長できそう」「社会に貢献している」がセットで捉えられているが、これらを回答した人の3~4割が、「労働時間が長そう」「休みが取りにくい」も同時に選択している。これらのことから、観光産業に対して、仕事のやりがいを評価をしているものの、勤務形態面への懸念が浮き彫りとなった。

図表 5-1-1 観光産業のイメージ【複数回答】



※「その他」の自由記述で挙げられた内容：ホテルやサービス業は女性の結婚後の復職は難しい／子育てしながらは難しそう／求める能力は高いが給与が少なすぎる／言葉の壁／わからない

図表 5-1-2 観光産業のイメージ（地域別）【複数回答】

(%)

	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
休みが取りにくい	28.7	39.4	49.4	31.9	26.8	37.2
労働時間が長そう	28.7	39.1	43.0	26.1	27.7	37.2
仕事を通じて成長できそう	19.7	27.6	29.3	23.4	23.2	23.0
体力的にキツそう	20.5	27.0	31.7	21.3	18.8	24.8
離職者が多い	12.3	16.2	28.0	15.4	24.1	29.2
社会に貢献している	10.7	19.3	28.4	11.2	6.3	15.9
仕事内容が面白そう	13.1	20.3	20.1	13.3	33.0	13.3
労働環境が良くない	15.6	14.9	21.3	18.6	15.2	21.2
給与、待遇が悪そう	17.2	13.8	25.3	15.4	7.1	19.5
業界に将来性がある	9.0	14.3	15.5	12.2	5.4	7.1
経営が不安定	6.6	10.7	15.2	9.6	8.0	21.2
福利厚生が不十分	3.3	7.7	17.4	13.3	3.6	15.9
優秀な人材が多い	5.7	10.2	8.8	5.3	2.7	4.4
規模が大きい会社が多い	4.1	9.9	8.8	6.9	1.8	6.2
能力主義で評価される	1.6	6.9	7.9	3.7	2.7	3.5
知名度が高い会社が多い	4.9	6.6	6.1	5.3	1.8	4.4
業界に対する社会的評価が低い	3.3	6.1	5.5	7.4	0.9	8.0
給与、待遇がいい	4.9	7.7	4.6	0.5	4.5	5.3
経営が安定していそう	4.1	4.7	8.2	2.1	0.9	3.5
会社の規模が小さい	2.5	3.8	4.6	6.4	0.0	6.2
福利厚生が充実している	4.1	4.4	2.7	2.1	1.8	2.7
業界に対する社会的評価が高い	1.6	3.5	5.2	1.1	0.9	1.8
仕事内容が面白くなさそう	2.5	2.8	2.4	0.5	2.7	5.3
会社の知名度が低そう	2.5	2.4	2.4	2.7	0.9	5.3
仕事を通しての成長がなさそう	3.3	2.0	2.1	0.5	3.6	8.8
業界に将来性がない	0.0	1.6	2.4	2.1	1.8	9.7
休みがキチンと取れる	0.8	2.7	2.7	0.0	0.9	1.8
わからない／あてはまるものがない	35.2	20.9	10.4	26.1	12.5	12.4
その他	0.0	0.8	0.0	0.5	0.0	0.9
無回答	2.5	0.3	0.3	1.1	8.0	2.7

図表 5-1-3 観光産業のイメージ（性別）【複数回答】

(%)

	男性	女性
休みが取りにくい	38.8	38.5
労働時間が長そう	36.3	36.7
仕事を通じて成長できそう	21.6	30.7
体力的にキツそう	22.7	29.3
離職者が多い	21.1	18.8
社会に貢献している	16.8	19.9
仕事内容が面白そう	18.0	20.4
労働環境が良くない	18.9	15.7
給与、待遇が悪そう	17.9	15.6
業界に将来性がある	11.9	13.5
経営が不安定	13.1	10.5
福利厚生が不十分	10.9	10.0
優秀な人材が多い	7.7	8.1
規模が大きい会社が多い	8.0	7.9
能力主義で評価される	5.7	5.7
知名度が高い会社が多い	5.3	6.0
業界に対する社会的評価が低い	6.1	5.2
給与、待遇がいい	5.9	5.1
経営が安定していそう	5.1	4.4
会社の規模が小さい	4.7	3.5
福利厚生が充実している	3.9	2.9
業界に対する社会的評価が高い	3.3	2.8
仕事内容が面白くなさそう	3.9	1.3
会社の知名度が低そう	2.5	2.5
仕事を通しての成長がなさそう	3.3	1.9
業界に将来性がない	3.1	1.6
休みがキチンと取れる	2.0	2.0
わからない／あてはまるものがない	20.9	17.3
その他	0.1	0.8
無回答	1.3	1.3

図表 5-1-4 観光産業のイメージ（年代別）【複数回答】

(%)

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
休みが取りにくい	23.8	39.0	39.7	45.5	40.6	36.2	32.4
労働時間が長そう	24.6	34.8	37.2	44.5	38.6	33.1	29.4
仕事を通じて成長できそう	28.7	28.1	27.9	25.2	22.1	28.8	16.2
体力的にキツそう	20.5	31.9	28.6	29.2	22.5	22.7	17.6
離職者が多い	5.7	18.6	21.0	26.9	21.7	17.7	16.2
社会に貢献している	25.4	20.5	13.1	19.3	19.7	17.7	14.7
仕事内容が面白そう	36.9	21.9	17.9	16.6	18.5	16.2	10.3
労働環境が良くない	4.9	18.6	17.2	22.3	16.9	16.9	17.6
給与、待遇が悪そう	4.9	21.4	11.7	21.6	17.3	17.7	17.6
業界に将来性がある	9.0	13.8	12.4	12.6	16.1	10.0	14.7
経営が不安定	7.4	11.9	11.0	12.3	10.0	14.6	16.2
福利厚生が不十分	1.6	11.4	11.4	12.6	9.2	10.8	13.2
優秀な人材が多い	14.8	11.4	6.2	7.3	8.8	3.5	8.8
規模が大きい会社が多い	8.2	11.4	5.5	11.0	7.2	5.0	7.4
能力主義で評価される	2.5	5.7	3.8	6.6	7.6	5.8	8.8
知名度が高い会社が多い	9.0	9.0	2.1	4.7	7.2	5.4	4.4
業界に対する社会的評価が低い	0.0	5.2	7.6	7.3	5.6	4.6	5.9
給与、待遇がいい	9.0	6.7	5.5	3.7	5.6	5.8	1.5
経営が安定していそう	5.7	7.1	5.5	2.7	4.0	4.2	5.9
会社の規模が小さい	0.8	3.3	3.8	2.7	2.0	8.8	8.8
福利厚生が充実している	2.5	3.3	2.8	3.3	4.0	4.6	1.5
業界に対する社会的評価が高い	4.9	2.9	1.7	2.0	3.6	3.8	5.9
仕事内容が面白くなさそう	4.1	3.3	1.0	2.7	4.4	1.9	0.0
会社の知名度が低そう	4.1	1.9	2.1	2.0	0.8	5.0	2.9
仕事を通しての成長がなさそう	2.5	3.3	2.4	2.7	1.6	2.7	4.4
業界に将来性がない	2.5	2.9	2.1	2.7	1.2	2.7	2.9
休みがキチンと取れる	4.1	2.9	1.0	1.3	1.2	3.1	1.5
わからない／あてはまるものがない	19.7	17.1	19.0	12.6	21.7	22.7	30.9
その他	0.0	1.0	0.3	0.7	0.4	0.0	1.5
無回答	2.5	1.9	1.7	1.0	0.0	1.9	0.0

図表 5-1-5 観光産業のイメージ（観光客と接する機会別）【複数回答】

(%)

	日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
休みが取りにくい	41.8	41.6	36.7
労働時間が長そう	38.7	41.3	33.9
仕事を通じて成長できそう	30.3	32.0	22.4
体力的にキツそう	28.0	27.0	25.0
離職者が多い	28.0	23.6	16.1
社会に貢献している	14.6	26.1	16.5
仕事内容が面白そう	16.9	26.7	17.0
労働環境が良くない	22.6	19.7	15.0
給与、待遇が悪そう	18.4	18.8	15.5
業界に将来性がある	9.6	16.6	12.0
経営が不安定	15.7	12.4	10.4
福利厚生が不十分	11.5	11.5	9.7
優秀な人材が多い	5.4	9.8	7.9
規模が大きい会社が多い	7.7	8.1	8.0
能力主義で評価される	5.7	6.5	5.5
知名度が高い会社が多い	5.4	5.3	5.8
業界に対する社会的評価が低い	8.4	6.2	4.7
給与、待遇がいい	6.5	4.2	5.6
経営が安定していそう	5.4	5.3	4.3
会社の規模が小さい	5.0	3.4	4.1
福利厚生が充実している	5.7	2.2	3.2
業界に対する社会的評価が高い	0.8	3.4	3.5
仕事内容が面白くなさそう	4.2	1.1	2.7
会社の知名度が低そう	3.4	1.4	2.7
仕事を通しての成長がなさそう	3.8	2.0	2.4
業界に将来性がない	2.3	3.4	1.9
休みがキチンと取れる	3.4	1.7	1.5
わからない／あてはまるものがない	12.3	12.4	24.1
その他	0.0	0.3	0.7
無回答	3.1	0.6	1.1

(2) 観光産業への就業意向（未就業者のみ）

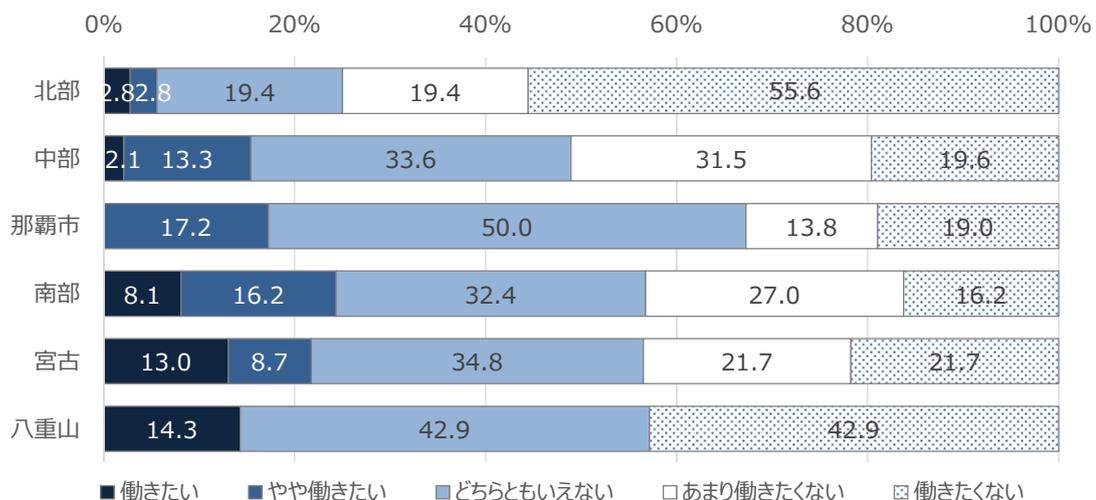
Q 将来、沖縄県内の観光産業で働いてみたいと思いますか。

- 未就業者に観光産業への就業意向について尋ねたところ、「働きたい」が3.4%、「やや働きたい」が13.0%と、あわせて16.4%に留まった。
- 地域別でみると、“宮古”、“南部”で就業意向が高い。（“八重山”は回答数が少ないため読み取り注意）
- 性別にみると、“女性”のほうが就業意向が高い。
- 年代別にみると、“10代”の就業意向は23.9%、“20代”は31.1%であった。
- 就業意向別に観光産業のイメージをみると、“働きたくない層（働きたくない+あまり働きたくない）”は「労働時間が長そう」「休みが取りにくい」「体力的にキツそう」に加え、「わからない」という回答が多い。観光産業で働くことをイメージできていないことも、働きたくないという意向につながっていると考えられる。

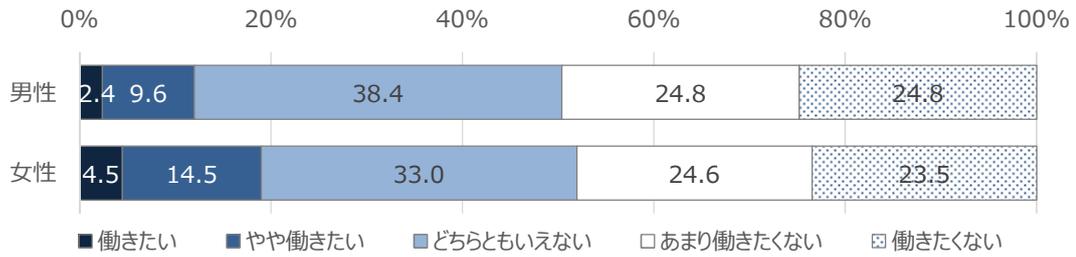
図表 5-2-1 観光産業への就業意向



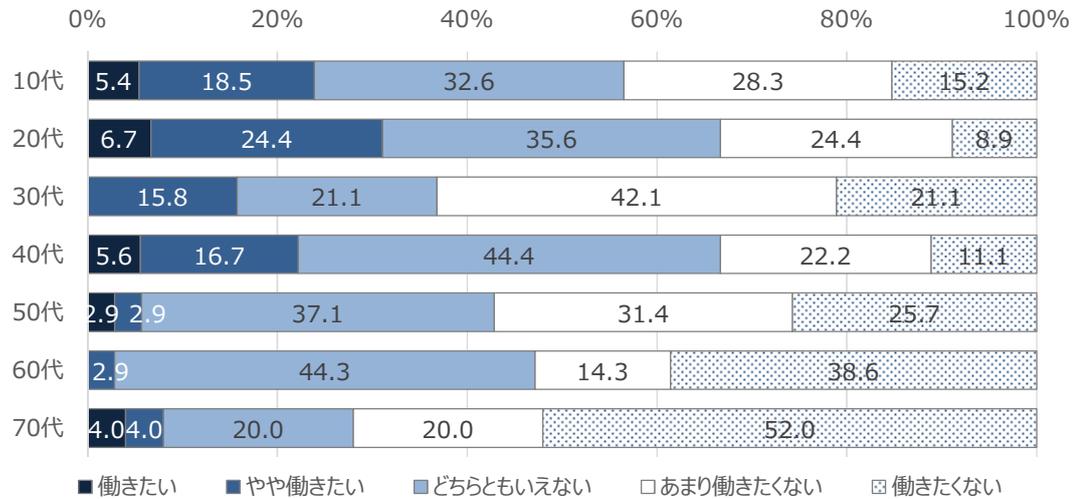
図表 5-2-2 観光産業への就業意向（地域別）



図表 5-2-3 観光産業への就業意向（性別）



図表 5-2-4 観光産業への就業意向（年代別）



図表 5-2-5 就業意向別にみた観光産業のイメージ

	働きたい層 (%)			働きたくない層 (%)		
	働きたい層	どちらともいえない層	働きたくない層	働きたい層	どちらともいえない層	働きたくない層
休みが取りにくい	20.9	23.2	33.7	18.2	11.8	4.6
労働時間が長そう	18.4	23.3	37.1	1.7	1.5	3.2
仕事を通じて成長できそう	50.4	28.2	14.5	11.4	8.9	2.5
体力的にキツそう	13.5	17.7	34.9	16.4	9.0	4.0
離職者が多い	5.9	13.3	12.1	1.7	6.4	3.7
仕事内容が面白そう	51.6	23.6	11.6	3.3	2.6	2.4
社会に貢献している	24.8	18.8	18.1	8.5	6.1	5.6
労働環境が良くない	10.1	5.7	10.6	0.0	2.3	4.5
給与、待遇が悪そう	12.8	11.1	18.4	1.7	0.0	4.4
業界に将来性がある	34.8	15.1	6.4	0.0	2.3	6.9
経営が不安定	2.0	7.4	16.5	2.6	0.0	2.1
福利厚生が不十分	2.6	9.4	10.5	3.3	4.5	2.4
規模が大きい会社が多い	15.9	13.5	2.4	7.5	29.6	33.7
優秀な人材が多い	21.6	12.2	4.5	0.0	0.0	1.1
能力主義で評価される	15.7	3.0	3.2	0.0	1.5	0.2

(3) 観光産業に対する就業推奨意向（子どもが未就業者のみ）

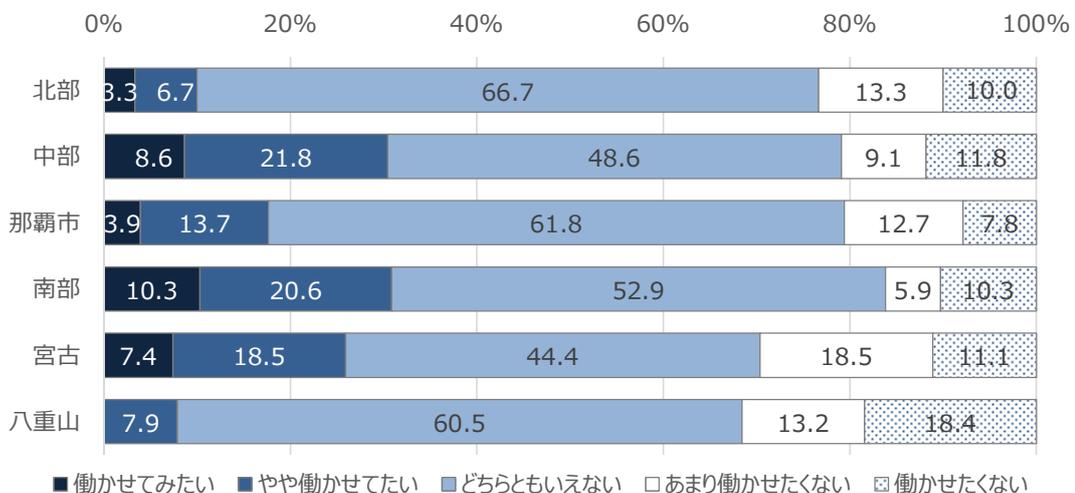
Q 将来、お子様を沖縄県内の観光産業で働かせてみたいと思いますか。

- 未就業者の子どもがいる人に対し、観光産業への就業推奨意向について尋ねたところ、「働かせてみたい」が6.9%、「やや働かせてみたい」が17.7%と、あわせて24.6%となった。
- 地域別で見ると、“南部”、“中部”、“宮古”で就業推奨意向が高い。
- 性別にみると、“女性”のほうが就業推奨意向が高い。
- 年代別にみると、“50～60代”の就業推奨意向が高い。（“10代”、“70代”は回答数が少ないため読み取り注意。）
- 観光客との接点別にみると、“日常生活のコミュニケーション”で接点がある人の就業推奨意向が高い。
- 子どものライフステージ別にみると、就業年齢に近い子をもつ親のほうが就業推奨意向が高い。
- 就業推奨意向別に観光産業のイメージをみると、“働かせたくない層（働かせたくない+あまり働かせたくない）”からは「休みが取りにくい」「労働時間が長そう」を半数以上が挙げ、顕著に多い。「労働環境が良くない」「離職者が多い」「体力的にキツそう」も3割以上が回答している。

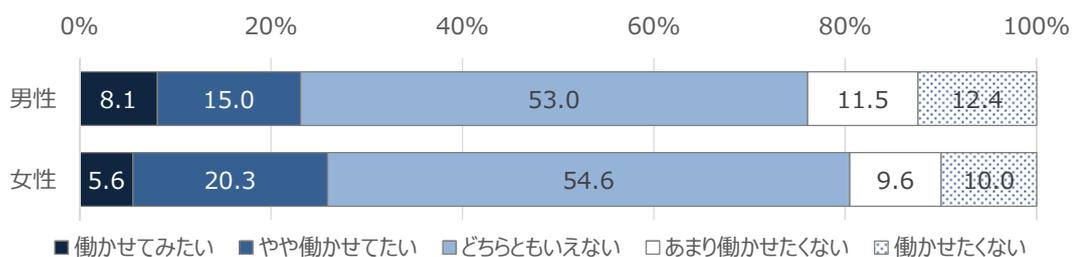
図表 5-3-1 観光産業に対する就業推奨意向



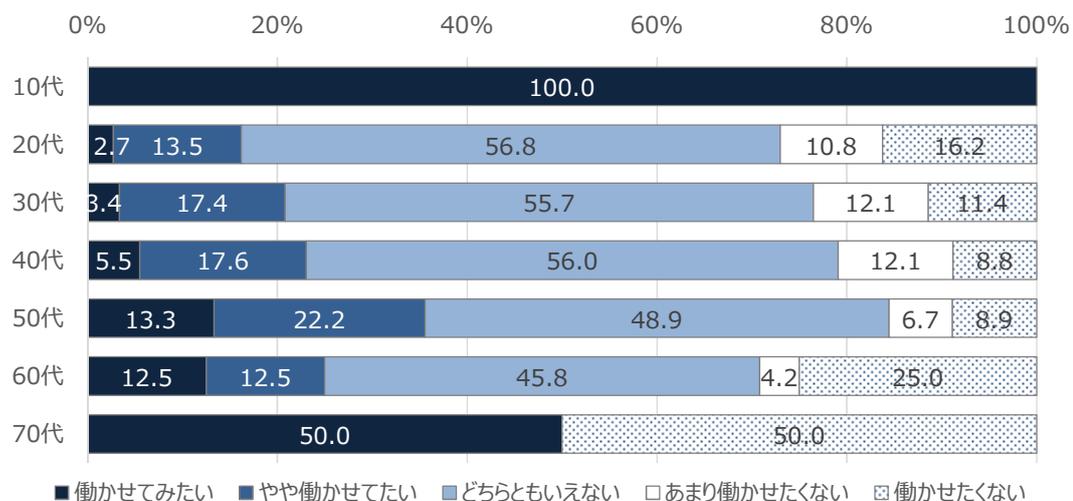
図表 5-3-2 観光産業に対する就業推奨意向（地域別）



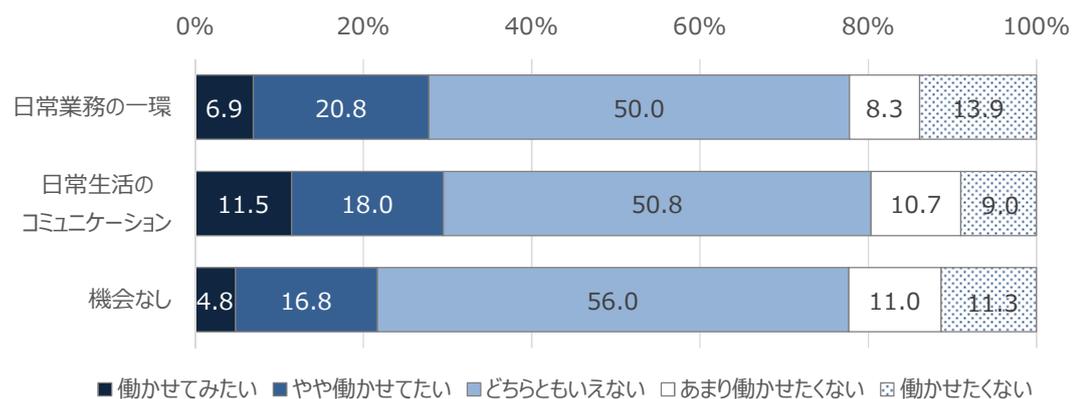
図表 5-3-3 観光産業に対する就業推奨意向（性別）



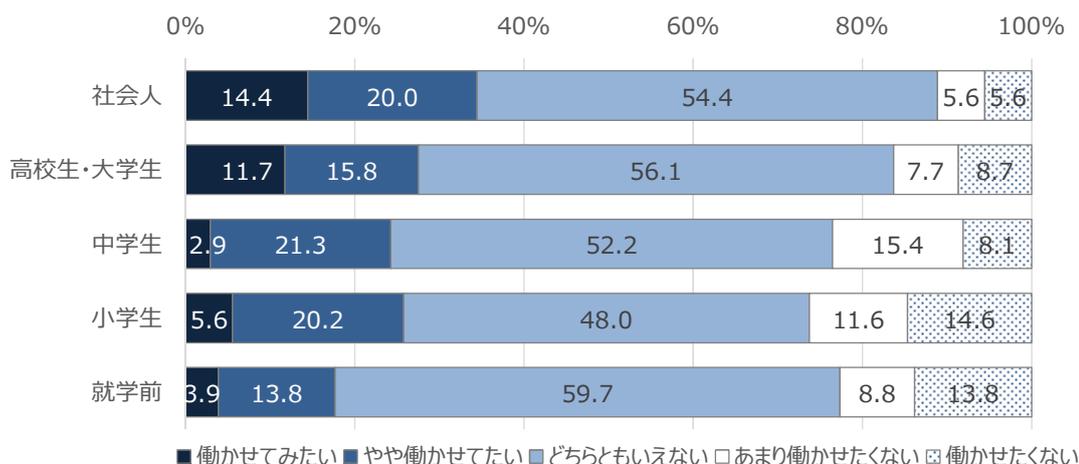
図表 5-3-4 観光産業に対する就業推奨意向（年代別）



図表 5-3-5 観光産業に対する就業推奨意向（観光客と接する機会別）



図表 5-3-6 観光産業に対する就業推奨意向（子どものライフステージ別）



※子どものライフステージは複数回答

図表 5-3-7 就業推奨意向別にみた観光産業のイメージ

	働かせてみたい層			働かせたくない層		
	働かせてみたい層	どちらともいえない	働かせたくない層	働かせてみたい層	どちらともいえない	働かせたくない層
休みが取りにくい	42.1	43.7	63.8	4.8	4.0	3.8
労働時間が長そう	41.7	37.8	52.5	2.5	9.6	11.6
仕事を通じて成長できそう	49.0	22.5	11.8	12.4	3.4	5.0
体力的にキツそう	27.3	29.7	36.0	8.4	3.2	4.9
離職者が多い	15.5	17.5	38.0	1.3	3.8	9.8
仕事内容が面白そう	43.1	15.0	13.3	6.0	3.5	7.1
社会に貢献している	29.6	16.9	14.3	7.5	1.5	2.4
労働環境が良くない	9.8	13.9	39.5	1.2	2.6	7.7
給与、待遇が悪そう	12.1	14.7	28.3	1.8	0.7	6.2
業界に将来性がある	27.8	11.3	11.7	1.3	2.3	3.3
経営が不安定	4.6	12.4	22.6	0.0	1.1	4.0
福利厚生が不十分	4.7	14.0	18.2	1.2	2.2	0.0
規模が大きい会社が多い	7.2	8.2	6.9	5.4	24.7	12.0
優秀な人材が多い	16.8	7.3	7.5	1.2	0.6	1.7
能力主義で評価される	8.7	6.2	4.5	0.0	0.0	0.0
知名度が高い会社が多い				4.8	4.0	3.8
業界に対する社会的評価が低い				2.5	9.6	11.6
給与、待遇がいい				12.4	3.4	5.0
経営が安定していそう				8.4	3.2	4.9
会社の規模が小さい				1.3	3.8	9.8
福利厚生が充実している				6.0	3.5	7.1
業界に対する社会的評価が高い				7.5	1.5	2.4
仕事内容が面白くなさそう				1.2	2.6	7.7
仕事を通しての成長がなさそう				1.8	0.7	6.2
会社の知名度が低そう				1.3	2.3	3.3
業界に将来性がない				0.0	1.1	4.0
休みがきちんと取れる				1.2	2.2	0.0
わからない／あてはまるものがない				5.4	24.7	12.0
その他				1.2	0.6	1.7
無回答				0.0	0.0	0.0

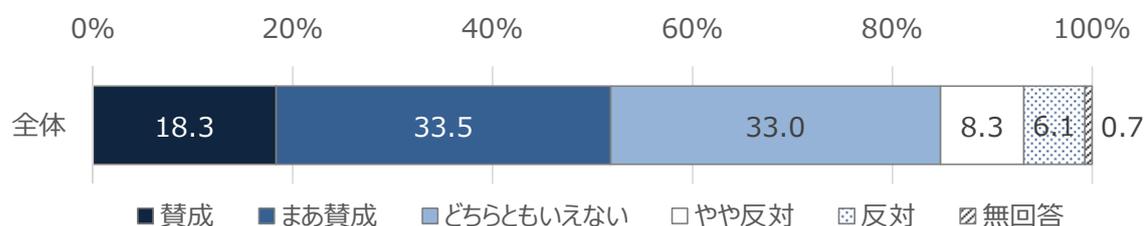
6. 観光税の導入に対する意識

(1) 観光税の導入についての賛否

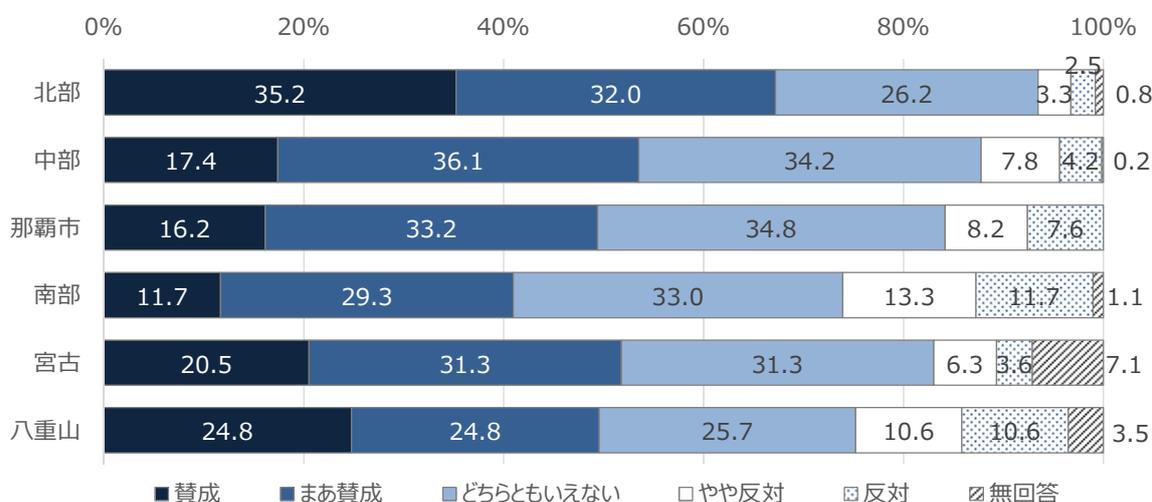
Q 外国人客をはじめとした近年の入域観光客の急増により、受入整備や環境負荷への対応のための財源を確保する必要があることから、現在、沖縄県では観光振興を目的とした観光税の導入を検討しています。この観光税を導入することについて、あなたはどのように思いますか。

- 観光税の導入については「賛成」が18.3%となり、「まあ賛成」と合わせた「賛成派」が51.8%を占め、「反対派(やや反対+反対)」14.5%を大幅に上回った。「どちらともいえない」も33.0%を占めた。
- 地域別にみると、“北部”で賛成派が多く、“南部”では賛成派が他地域に比べて少なく、反対派が多い。
- 性別では、男女による大きな差はみられない。
- 年代別では、賛成派は“40代”で多く、“30代”で少ない。
- 観光客と接する機会別では、“日常業務や日常生活で接している”で賛成派が多い。

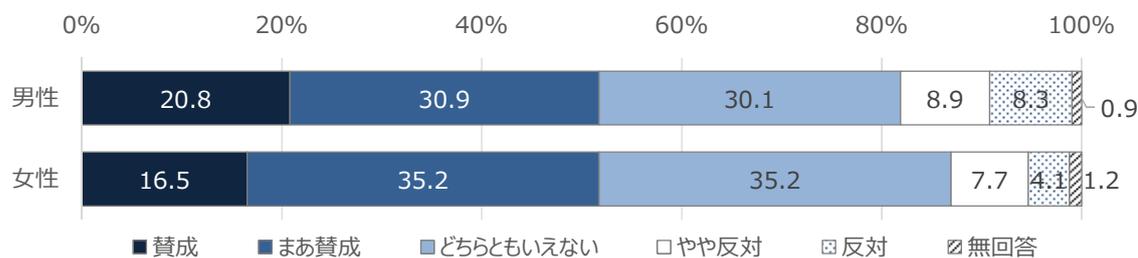
図表 6-1-1 観光税の導入についての賛否



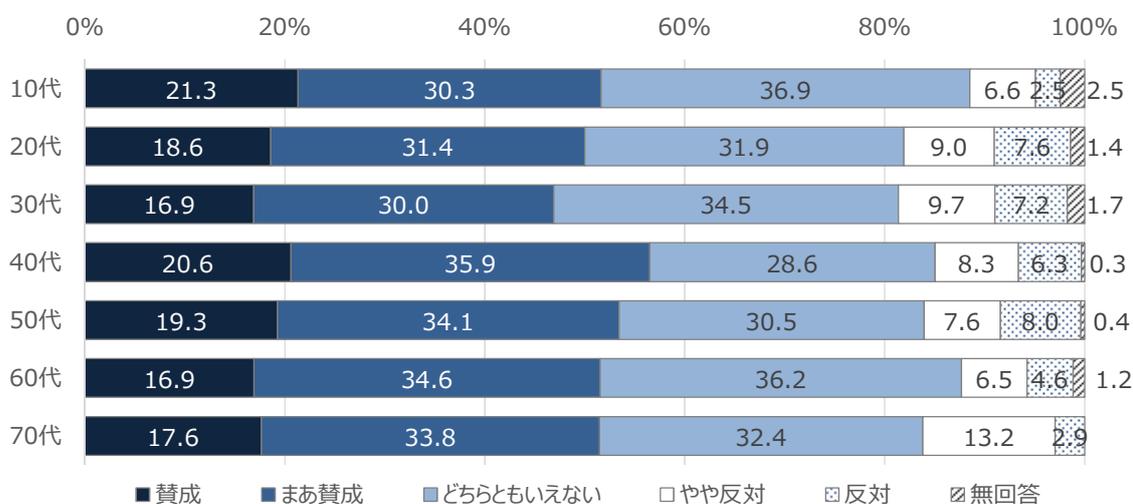
図表 6-1-2 観光税の導入についての賛否（地域別）



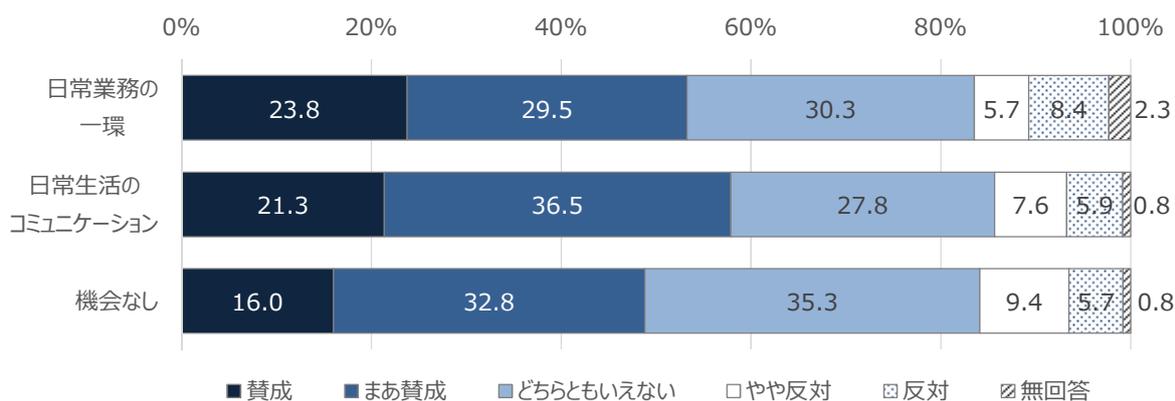
図表 6-1-3 観光税の導入についての賛否（性別）



図表 6-1-4 観光税の導入についての賛否（年代別）



図表 6-1-5 観光税の導入についての賛否（観光客と接する機会別）



(2) 観光税を導入した場合の活用方法

Q 観光税を導入した場合、どのような目的に活用した方が良いと思いますか。

- 観光税の使途としては「道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備」が58.3%と最も多い。次いで「海などの自然環境の保全」48.8%、「案内表示や情報発信等における多言語対応の強化」40.6%と続く。
- 地域別でみると、“宮古”では「自然環境の保全」が、その他の地域では「公表施設の美化整備」が最も多い。
- 性別や年代別にみても、大小はあるものの、属性で傾向に大きな差はみられない。

図表 6-2-1 観光税を導入した場合の活用方法【複数回答】



※「その他」の自由記述で挙げられた内容：交通ルール／公共交通機関の整備／電車／琉球歴史案内等／ゴミ処理、上下水道／地域雇用への手当／テーマパークなど新しい観光スポットを作る／テロ防止などの警備面／観光税 NG なのでどれも NG / もっと考えるべき／わからない

図表 6-2-2 観光税を導入した場合の活用方法（地域別）【複数回答】

活用方法	地域別 (%)					
	北部	中部	那覇市	南部	宮古	八重山
特になし	12.3	14.3	11.9	27.7	5.4	10.6
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	58.2	59.8	64.3	44.1	45.5	66.4
海などの自然環境の保全	46.7	52.0	51.2	33.5	55.4	48.7
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	48.4	42.5	40.9	32.4	44.6	24.8
観光バス等の駐車場の整備	39.3	34.1	36.6	27.7	19.6	31.0
ホスピタリティの向上・人材育成	21.3	34.7	36.6	23.4	22.3	30.1
観光施設等のバリアフリー化	39.3	30.0	36.0	18.1	19.6	22.1
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信の環境整備	29.5	33.3	28.0	23.9	25.9	16.8
観光案内機能の充実	32.0	30.9	22.6	20.7	23.2	18.6
宿泊施設の整備	25.4	28.6	26.8	14.9	10.7	15.9
誘客プロモーション	15.6	15.7	7.6	8.0	11.6	7.1
その他	0.8	0.6	0.9	1.1	0.9	3.5
無回答	2.5	1.3	1.2	1.6	8.0	6.2

図表 6-2-3 観光税を導入した場合の活用方法（性別）【複数回答】

	（%）	
	男性	女性
特になし	16.7	12.0
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	56.9	59.3
海などの自然環境の保全	48.8	49.3
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	40.5	39.9
観光バス等の駐車場の整備	33.3	32.5
ホスピタリティの向上・人材育成	29.6	33.1
観光施設等のバリアフリー化	28.4	30.0
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信の環境整備	28.9	28.8
観光案内機能の充実	25.9	26.9
宿泊施設の整備	25.2	22.7
誘客プロモーション	11.7	12.3
その他	1.2	0.8
無回答	2.0	2.5

図表 6-2-4 観光税を導入した場合の活用方法（年代別）【複数回答】

	（%）						
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代
特になし	27.0	18.6	10.0	11.3	12.0	13.8	20.6
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	50.0	54.3	59.7	60.5	63.1	58.1	50.0
海などの自然環境の保全	40.2	48.6	50.3	44.9	57.8	49.6	45.6
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	27.0	39.5	39.3	42.9	45.0	41.5	35.3
観光バス等の駐車場の整備	15.6	35.7	32.1	33.6	36.1	36.2	32.4
ホスピタリティの向上・人材育成	16.4	29.0	28.3	36.9	35.7	32.3	33.8
観光施設等のバリアフリー化	22.1	34.3	25.2	28.9	30.5	32.7	26.5
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信の環境整備	17.2	26.7	26.2	28.9	34.5	35.0	23.5
観光案内機能の充実	11.5	28.1	17.2	26.9	31.3	35.8	30.9
宿泊施設の整備	23.0	27.6	19.7	24.6	25.7	23.1	26.5
誘客プロモーション	9.0	20.5	11.7	11.3	10.4	8.8	13.2
その他	1.6	0.0	0.7	1.0	2.0	0.4	2.9
無回答	2.5	1.9	3.1	1.3	1.2	4.2	0.0

図表 6-2-5 観光税を導入した場合の活用方法（観光客と接する機会別）【複数回答】

	（%）		
	日常業務の一環	日常生活のコミュニケーション	機会なし
特になし	5.7	12.9	17.6
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	55.2	60.4	58.1
海などの自然環境の保全	54.4	54.8	45.3
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	39.8	45.2	38.2
観光バス等の駐車場の整備	28.7	37.6	32.3
ホスピタリティの向上・人材育成	31.4	35.7	29.5
観光施設等のバリアフリー化	27.6	34.6	27.5
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信の環境整備	29.1	32.9	27.1
観光案内機能の充実	27.6	30.1	24.5
宿泊施設の整備	21.1	26.1	23.9
誘客プロモーション	12.3	15.7	10.4
その他	1.9	0.8	0.8
無回答	5.4	1.1	1.8

図表 6-2-6 観光税を導入した場合の活用方法（観光税導入の賛否別）【複数回答】

	（%）		
	賛成派	どちらともいえない	反対派
特になし	3.4	24.3	32.9
道路や公共トイレなど観光客も利用する公共施設の美化整備	68.2	53.1	43.0
海などの自然環境の保全	61.9	42.0	29.3
案内表示や情報発信等における多言語対応の強化	53.1	32.1	21.7
観光バス等の駐車場の整備	43.5	26.8	16.7
ホスピタリティの向上・人材育成	42.8	27.5	15.9
観光客が手軽に情報を入手できる情報通信の環境整備	40.4	23.8	16.1
観光案内機能の充実	39.2	19.6	9.4
観光施設等のバリアフリー化	37.7	24.5	17.8
宿泊施設の整備	35.9	20.3	9.7
誘客プロモーション	17.9	11.4	2.8
その他	1.0	0.6	0.2
無回答	0.0	1.0	6.7

7. 将来の沖縄観光のあり方や観光行政に関する意見

Q 将来の沖縄観光のあり方や、沖縄県の観光行政について、ご意見・ご要望がございましたらご自由にお書き下さい。

- 「交通」に関する記述が3割を超えて、特に「交通ルール・マナー、事故対策」や「渋滞・混雑」への不満、改善策を望む声が多く寄せられた。次いで多い意見は「人材育成・県民教育」であり、以下、「自然・環境保全、活用」「ゴミ、環境美化」「観光客のマナー」と続く。

図表 7-1-1 将来の沖縄観光のあり方や観光行政に関する意見【自由回答を分類】

	(%)							
	全体	北部	中部	那覇市	南部	宮古	石垣	
交通	33.8	43.9	17.0	80.8	14.3	20.0	8.0	
ルール・マナー、事故対策	10.8	22.0	6.5	24.7	0.0	0.0	0.0	
渋滞・混雑	8.1	7.3	4.6	20.5	3.6	0.0	0.0	
モラル	4.2	2.4	1.3	12.3	3.6	0.0	0.0	
バス	3.4	2.4	1.3	8.2	3.6	0.0	4.0	
道路	1.8	2.4	1.3	4.1	0.0	0.0	0.0	
人材育成・県民教育（語学力向上含む）	17.9	14.6	9.2	39.7	21.4	0.0	4.0	
自然・環境保全、活用	16.6	4.9	13.1	37.0	7.1	0.0	12.0	
ゴミ、環境美化	15.1	14.6	6.5	38.4	7.1	0.0	20.0	
観光客のマナー	12.6	12.2	9.2	24.7	3.6	20.0	4.0	
受入整備、インフラ整備、施設整備	7.6	2.4	2.6	23.3	0.0	0.0	16.0	
経済効果、雇用効果	10.1	0.0	5.9	24.7	3.6	20.0	8.0	
観光発展	7.6	4.9	7.8	15.1	0.0	0.0	0.0	
文化の継承・保全、活用	6.1	2.4	3.3	13.7	7.1	0.0	4.0	
多言語対応	4.5	2.4	2.6	11.0	3.6	0.0	0.0	
PR	5.1	0.0	5.9	9.6	0.0	0.0	4.0	
地図・案内板	6.3	9.8	2.6	12.3	3.6	20.0	0.0	
県民生活とのバランス、配慮	4.6	0.0	2.0	12.3	3.6	0.0	8.0	
観光産業の待遇改善	4.4	0.0	3.3	9.6	3.6	0.0	4.0	
治安、安心・安全	4.9	2.4	3.9	11.0	0.0	0.0	8.0	
サービスの向上・質の担保	3.5	4.9	1.3	6.8	3.6	0.0	8.0	
レジャー開発	2.5	0.0	3.3	4.1	0.0	0.0	0.0	
世界のリゾート	3.2	2.4	1.3	8.2	3.6	0.0	0.0	
イベント	3.7	0.0	3.9	8.2	0.0	0.0	0.0	
荒天時対策	3.1	0.0	2.6	6.8	0.0	0.0	8.0	
地域毎の対応	3.0	2.4	2.6	6.8	0.0	0.0	0.0	
バリアフリー	2.9	2.4	0.7	6.8	0.0	20.0	0.0	
行政	2.4	0.0	1.3	6.8	0.0	0.0	4.0	
リピーターの確保	1.9	0.0	2.0	4.1	0.0	0.0	0.0	
観光税	2.4	0.0	0.7	4.1	7.1	0.0	4.0	
交流	2.2	0.0	0.7	4.1	7.1	0.0	0.0	
滞在日数、消費単価の増加	1.8	2.4	1.3	4.1	0.0	0.0	0.0	
通信環境	1.7	0.0	1.3	2.7	3.6	0.0	0.0	
決済環境	0.9	0.0	0.7	2.7	0.0	0.0	0.0	
その他	5.8	2.4	1.3	15.1	7.1	0.0	12.0	